

湖東圏域における 在宅医療の動向

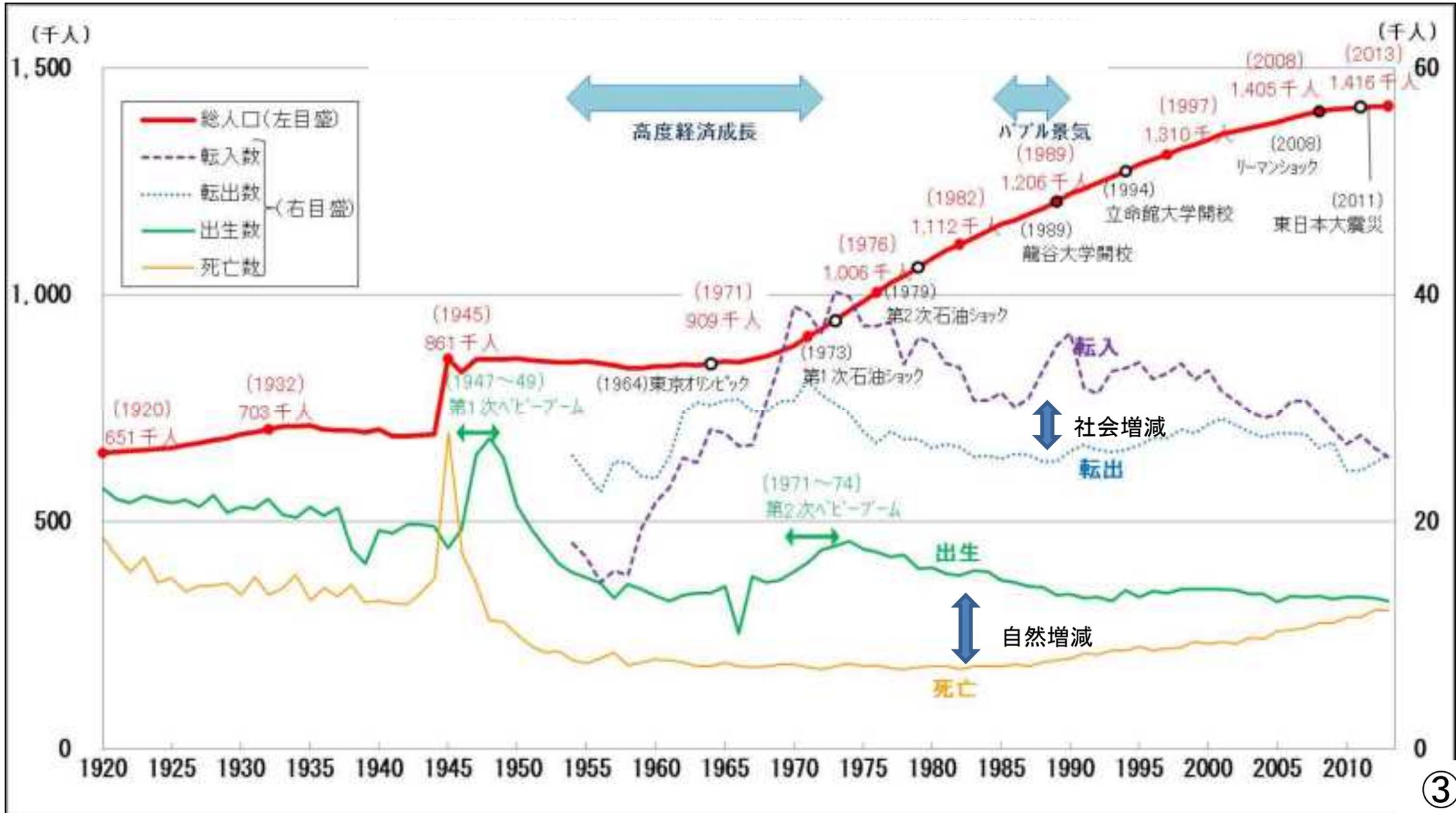
H30.7



滋賀県彦根保健所

滋賀県の人口の推移

- 滋賀県の人口は、1960年（S35）以降増え続け2008年（H20）には140万人に到達
- 自然増減では戦後増加が続いていたが、近年の死亡者数増加により出生数に近づきつつある。
- 社会増減では1968年（S43）以来転入超過であったが、2013年（H25）には転出超過に転じた。



二次保健医療圏と高齢化率

7年後



区分	構成市町数	総人口(65歳以上)	高齢化率	2025年 高齢化率 推計
大津圏域	1市	340,544人(88,123人)	26.1%	28.5%
湖南圏域	4市	339,855人(71,891人)	21.5%	22.9%
甲賀圏域	2市	143,772人(36,944人)	25.8%	28.9%
東近江圏域	2市2町	227,956人(61,069人)	26.9%	28.9%
湖東圏域	1市4町	155,728人(38,863人)	25.2%	27.5%
湖北圏域	2市	154,027人(43,085人)	28.4%	29.8%
湖西圏域	1市	48,132人(16,471人)	34.3%	36.4%
全県域	13市6町	1,410,014人(356,446人)	25.5%	27.5%
* 75歳以上人口;173,055人 割合;12.4%				
全国(概算)		12,653万人(3,538万人)	28.0%	

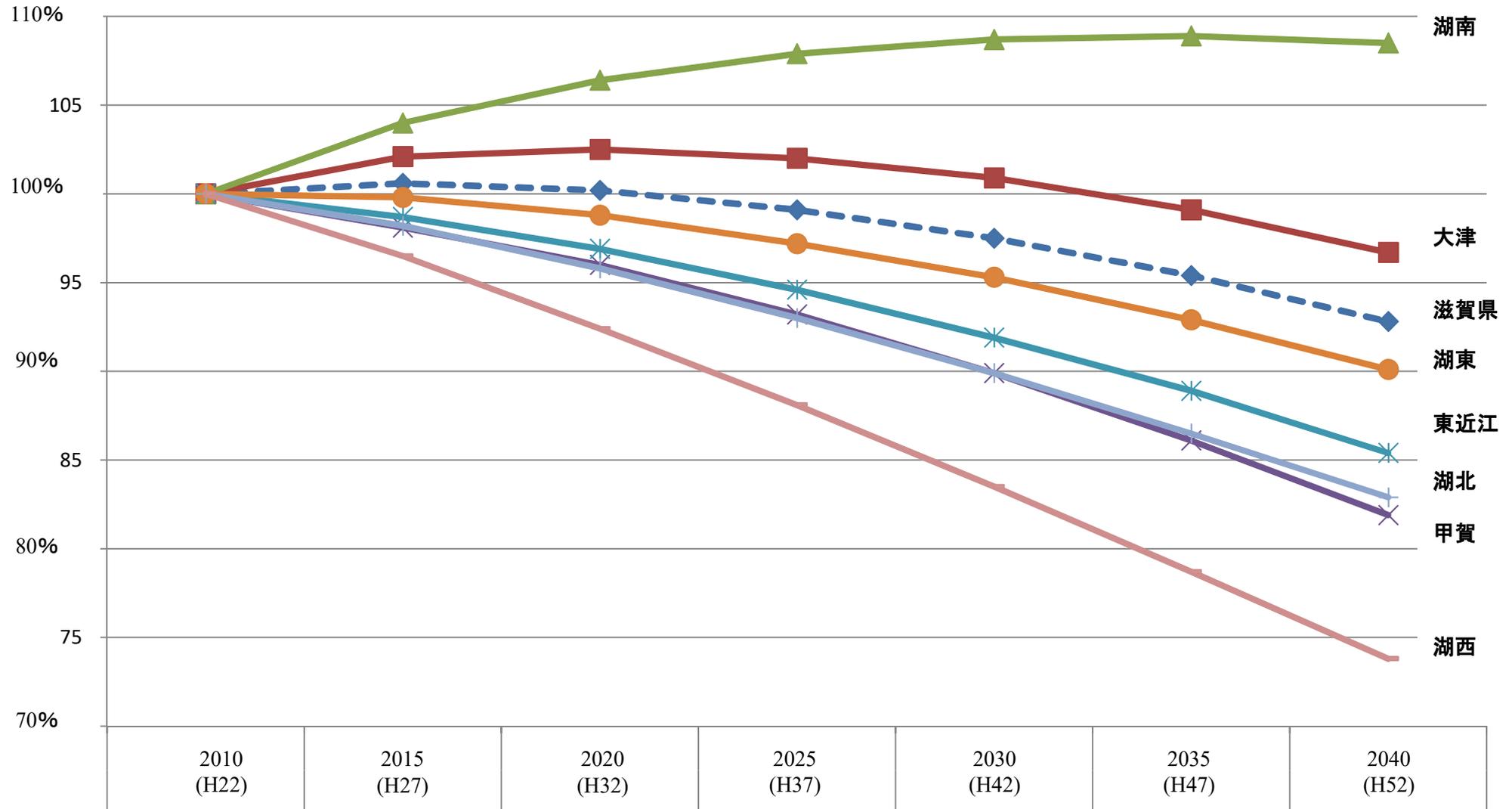
市町別人口・高齢化率（湖東圏域）

（平成29年10月1日現在）

区分	人口(人)	高齢化率	
	総数	2017年	2025年推計
滋賀県	1,412,956	25.3%	27.5
圏域合計	156,056	25.0%	27.2
彦根市	113,733	24.4%	26.9
愛荘町	20,926	22.2%	23.7
豊郷町	7,395	27.7%	32.1
甲良町	6,762	31.2%	34.5
多賀町	7,240	34.2%	37.8

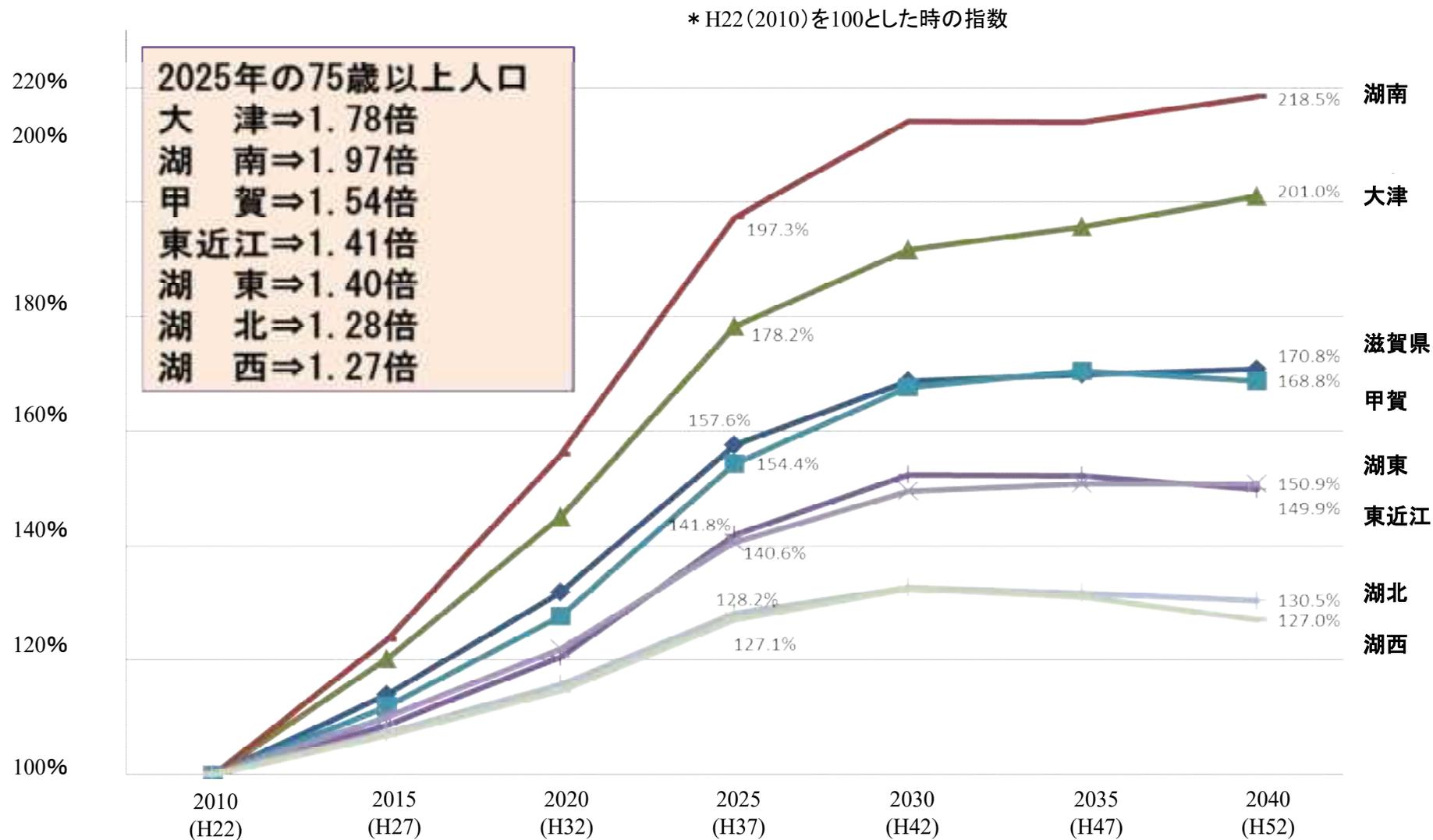
圏域別総人口の将来推計

* H22(2010)を100とした時の指数

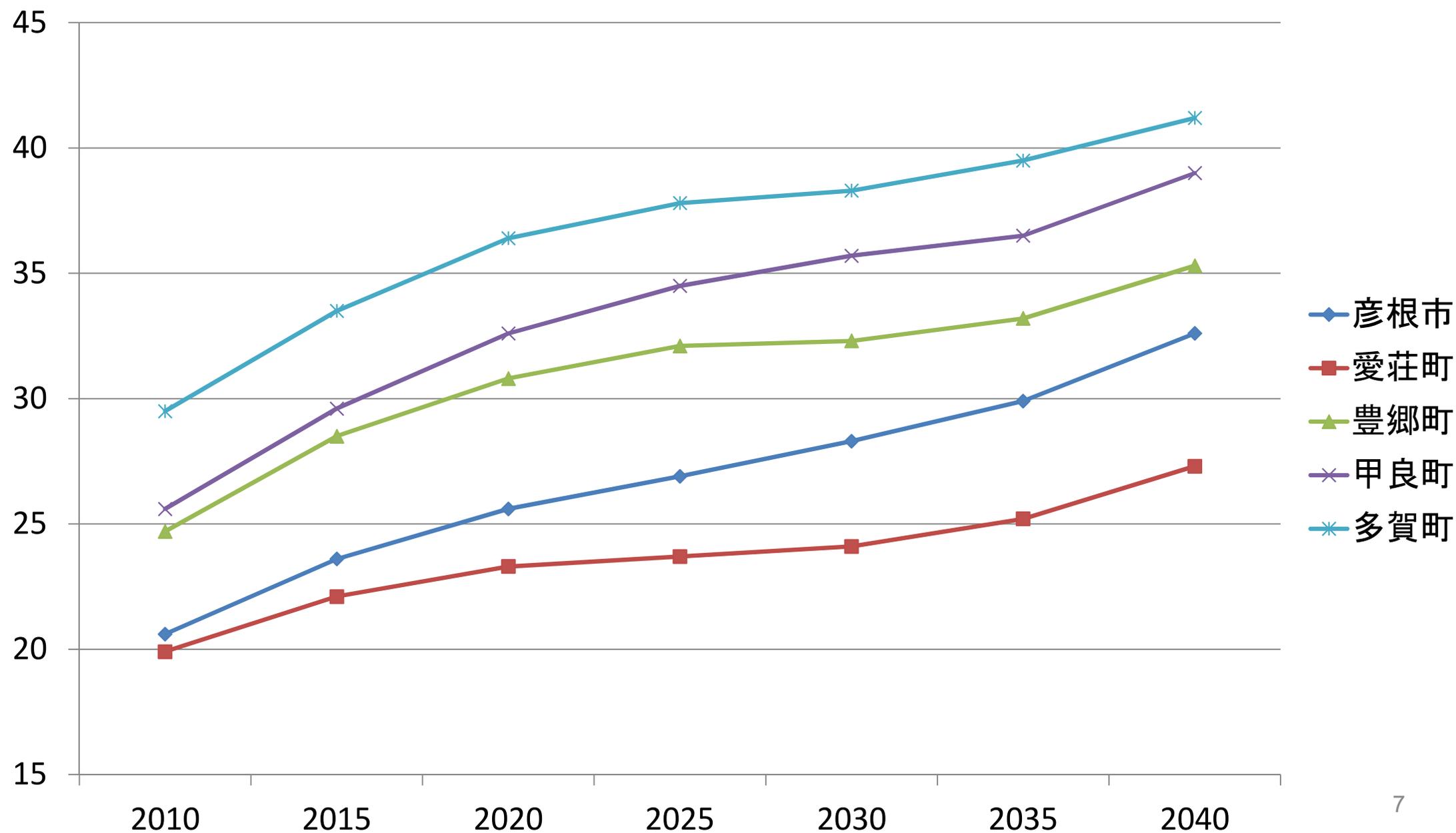


75歳以上人口の将来推計

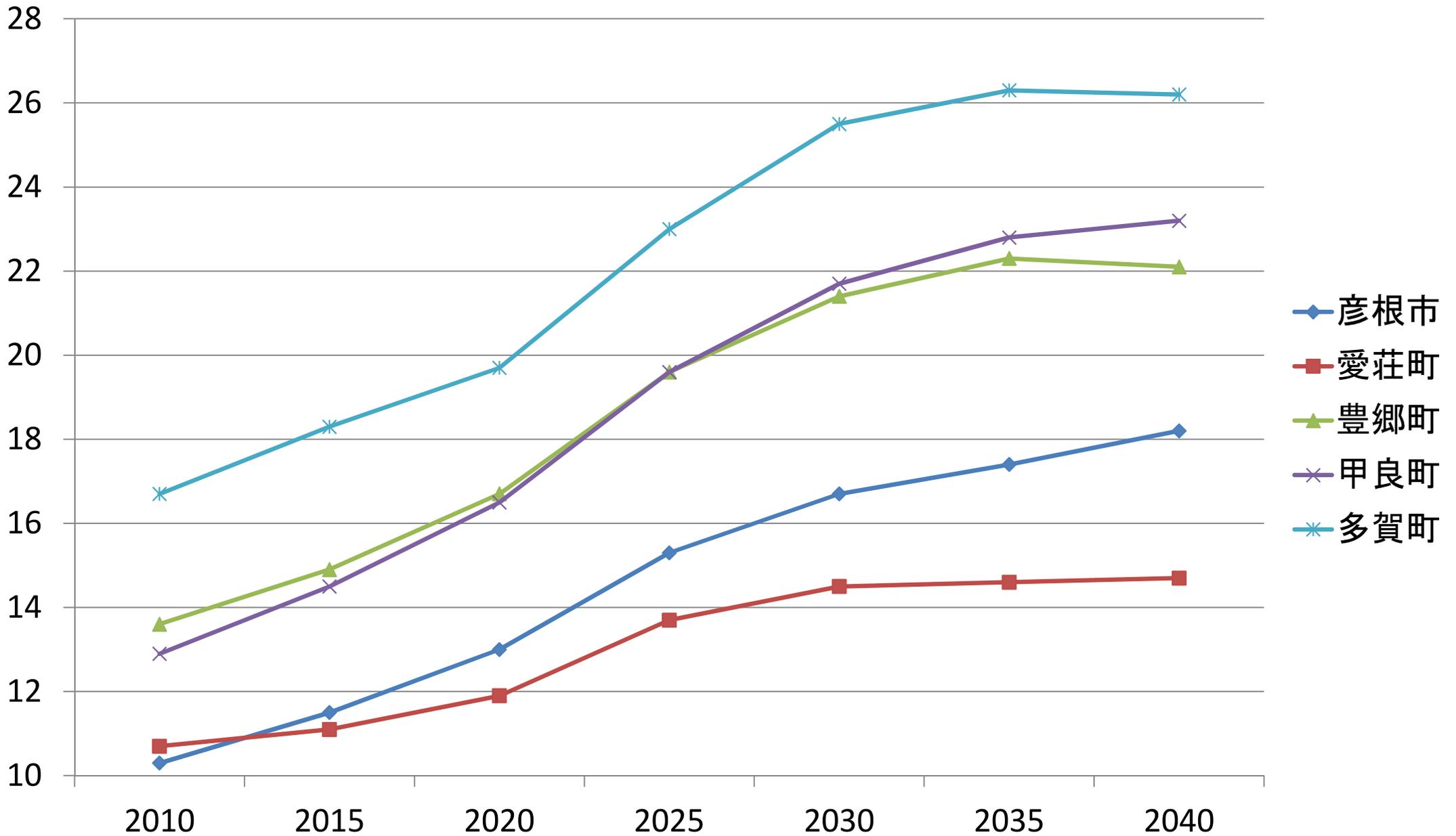
75歳以上人口は増え続ける(2030年まで)



市町別65歳以上人口割合の推移(湖東圏域)



市町別75歳以上人口の割合の推移（湖東圏域）

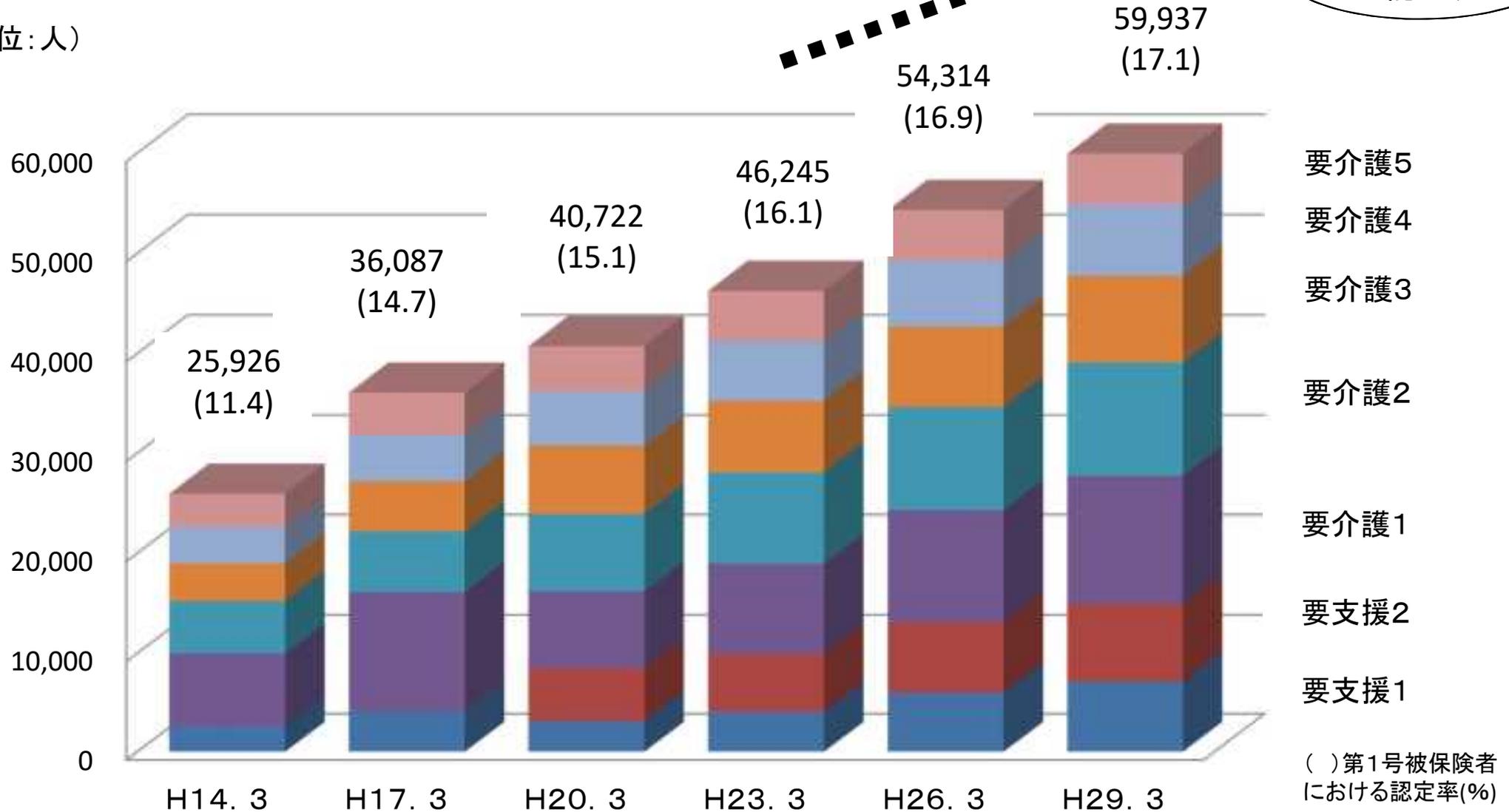


滋賀県における要介護度別認定者数

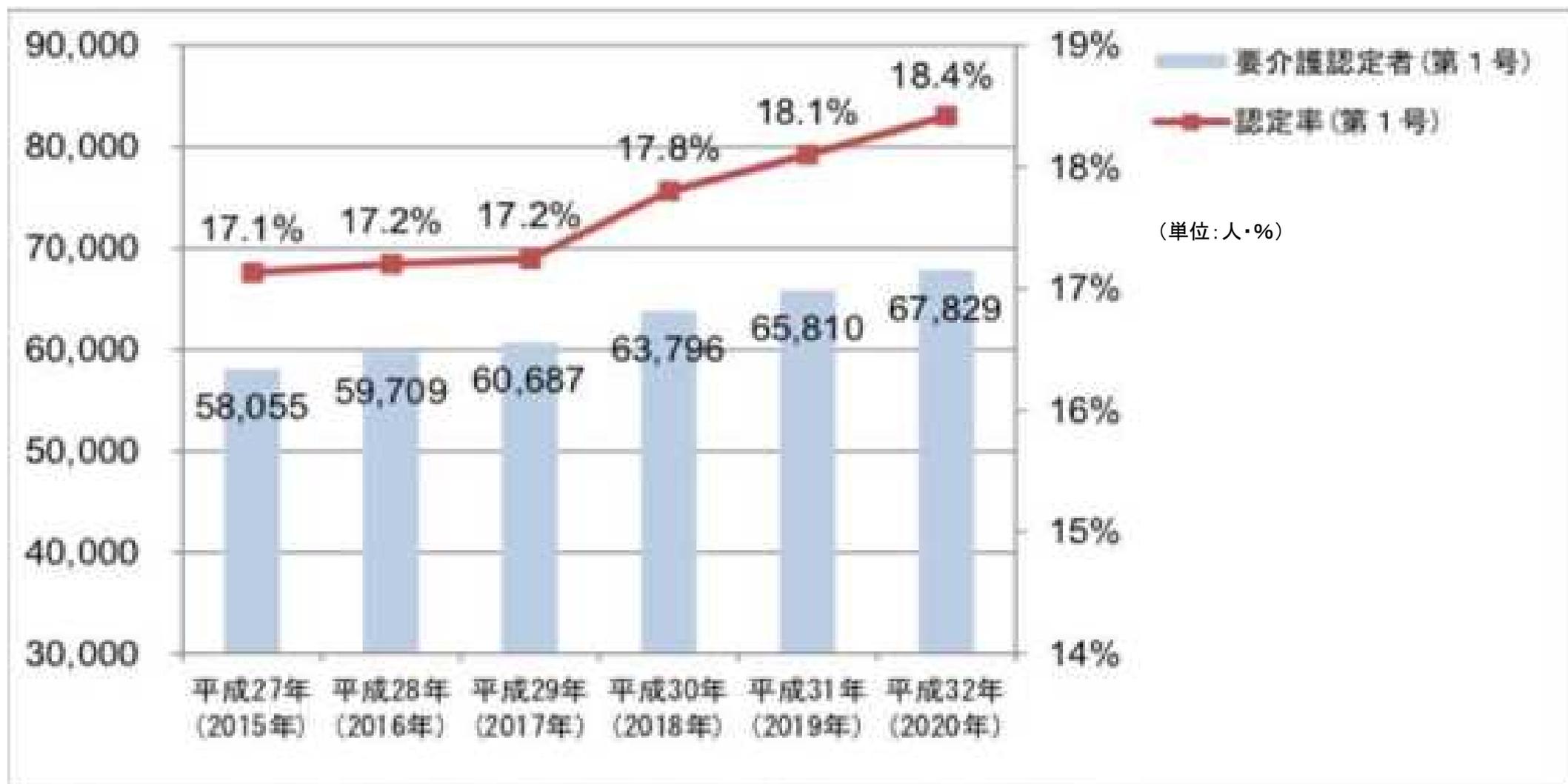
6年間で約14,000人増え、今後も増加！！

約半数の方が認知症

(単位:人)

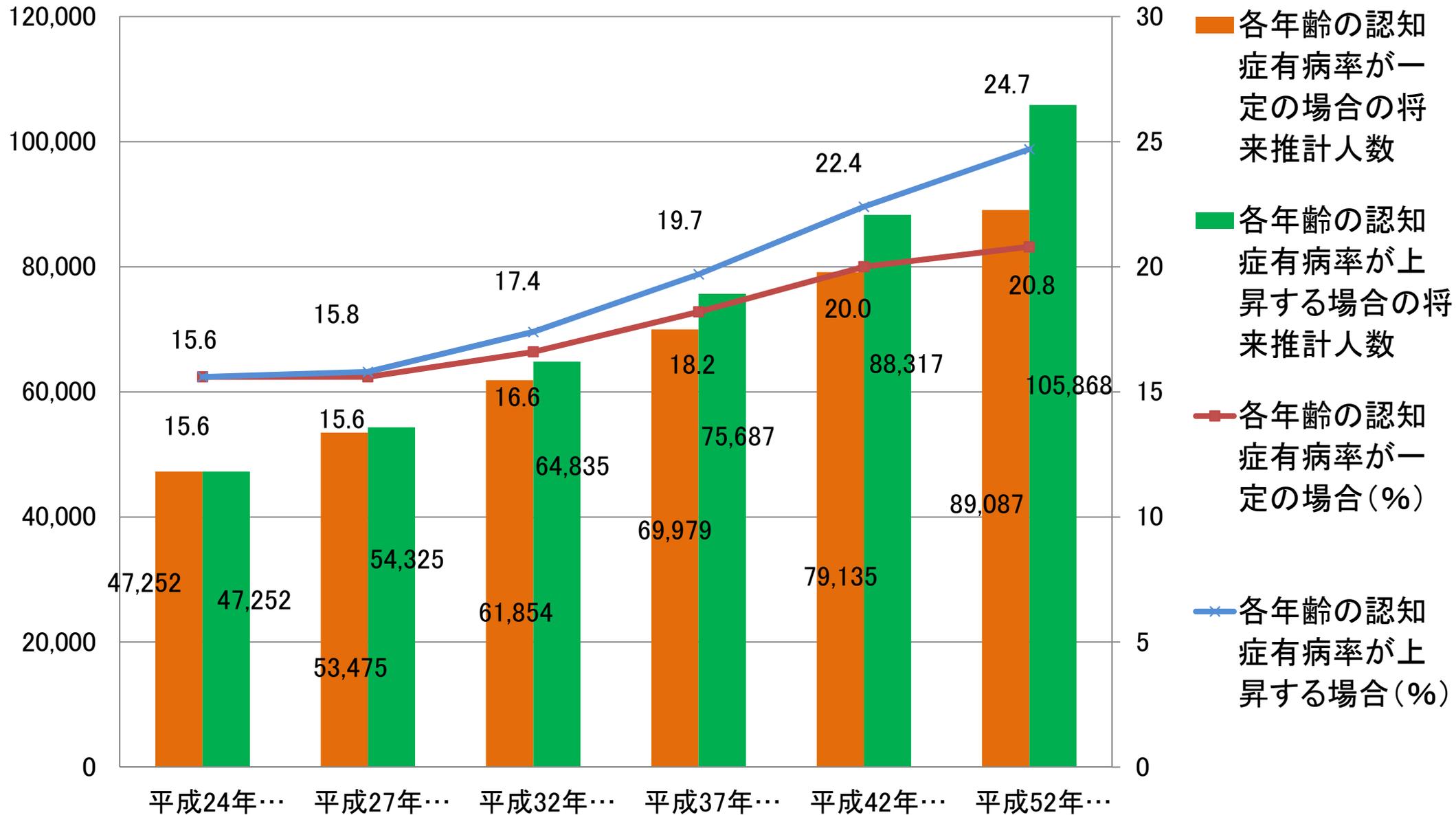


要介護等認定者数と認定率(第1号保険者)の推移 (滋賀県)

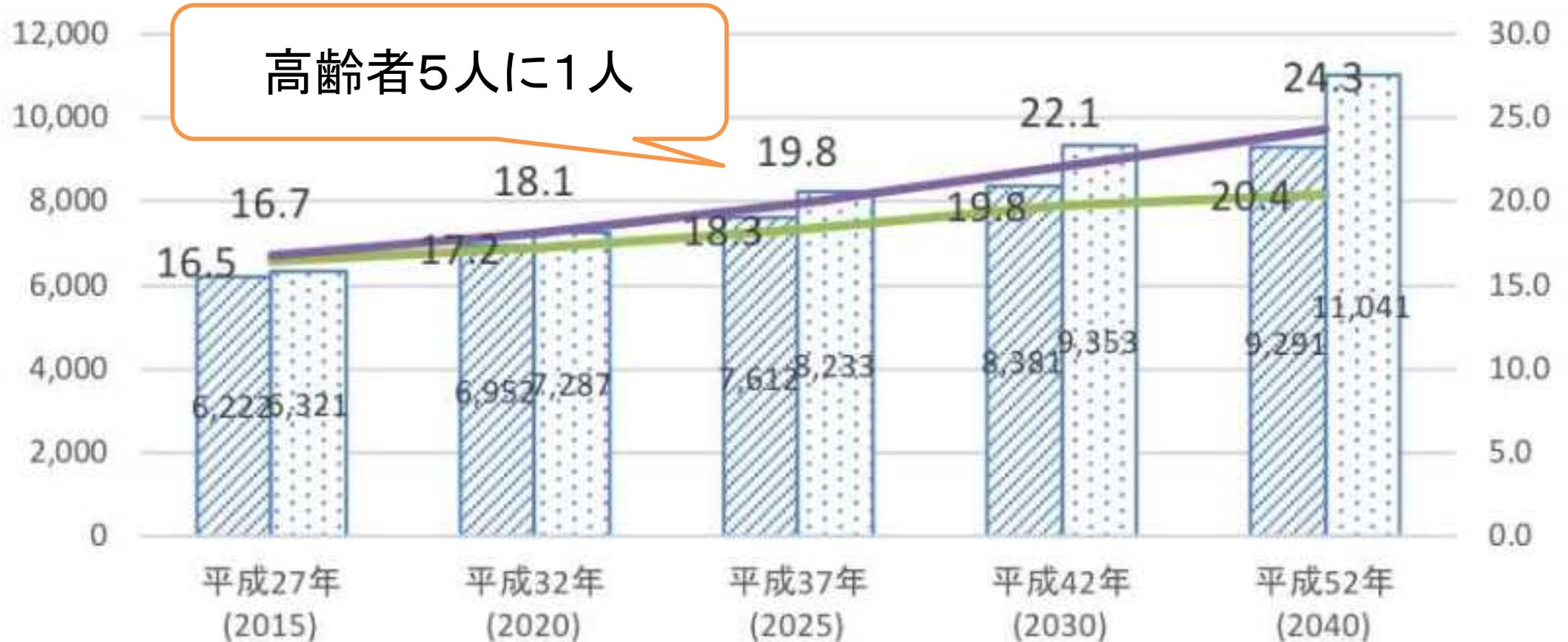


出典：地域包括ケア「見える化システム」(厚生労働省)による滋賀県内市町の推計値の合計値
 人口推計は市町の推計値によるため図1-1の推計値と差が生じている
 時点は各年9月30日時点の数値

認知症高齢者の将来推計



認知症高齢者数と有病率の推計（湖東圏域）



高齢者5人に1人

- 各年齢の認知症有病率が一定の場合の将来推計
- 各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計
- 各年齢の認知症有病率が一定の場合の将来推計
- 各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計

高齢者世帯の状況

居住状態 65歳以上 男性 2010年(H22)⇒2025年(H37)



滋賀県は男女とも全国と比べて子との同居世帯が多い

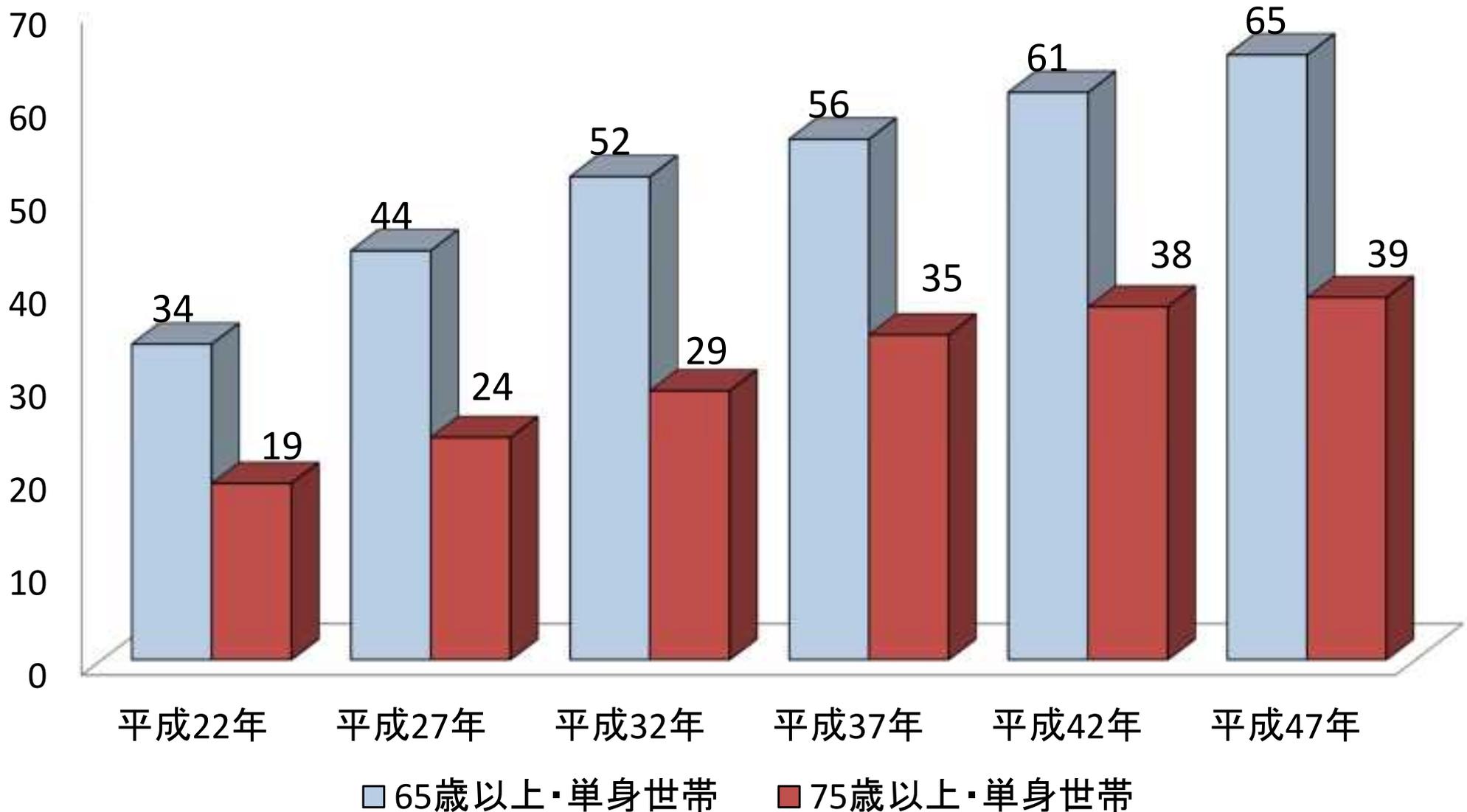
居住状態 65歳以上 女性 2010年(H22)⇒2025年(H37)



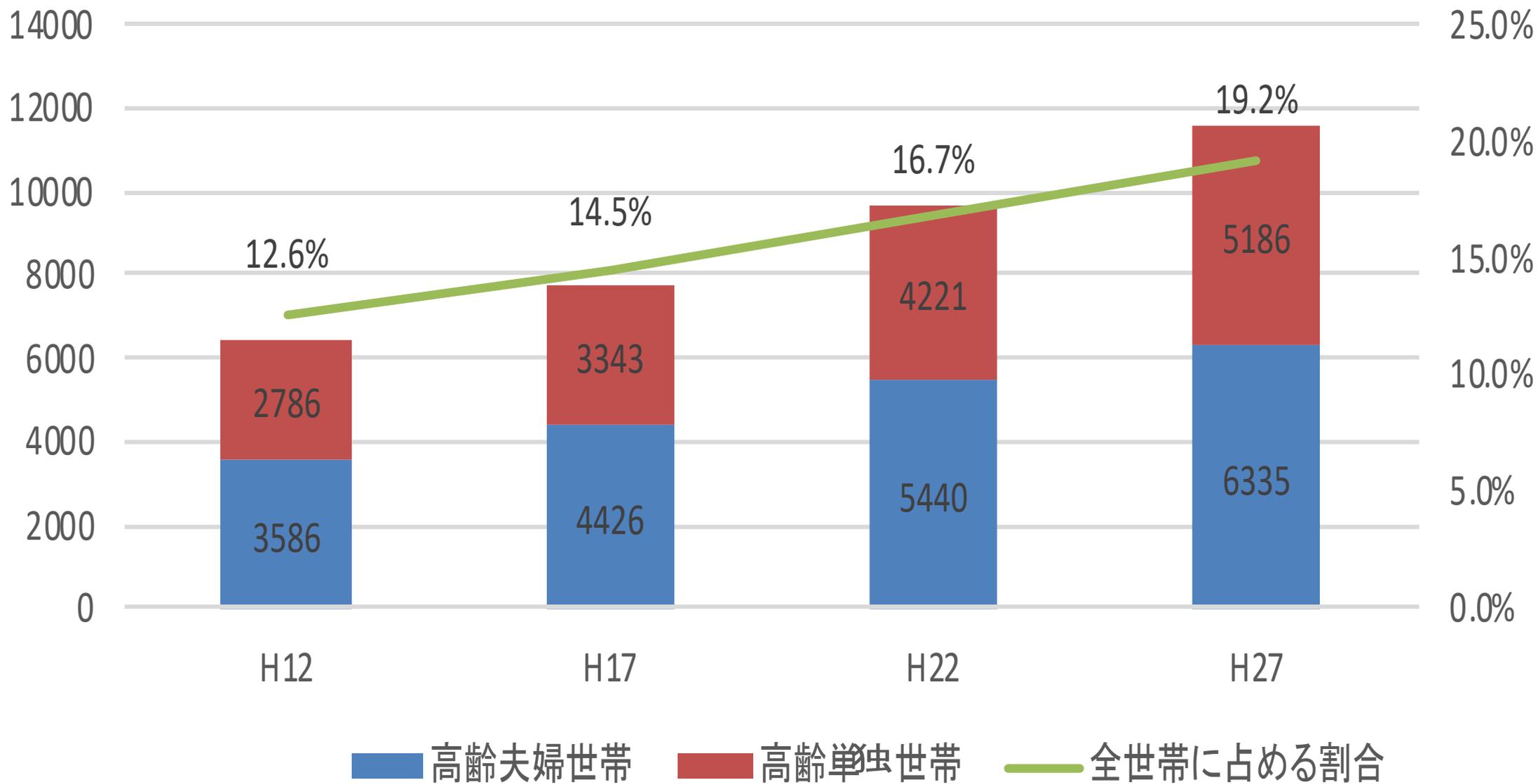
しかし、2025年(H37)には男性の10人に1人、女性の7.7人に1人は、近居のない単独世帯となる

単身高齢世帯の推移

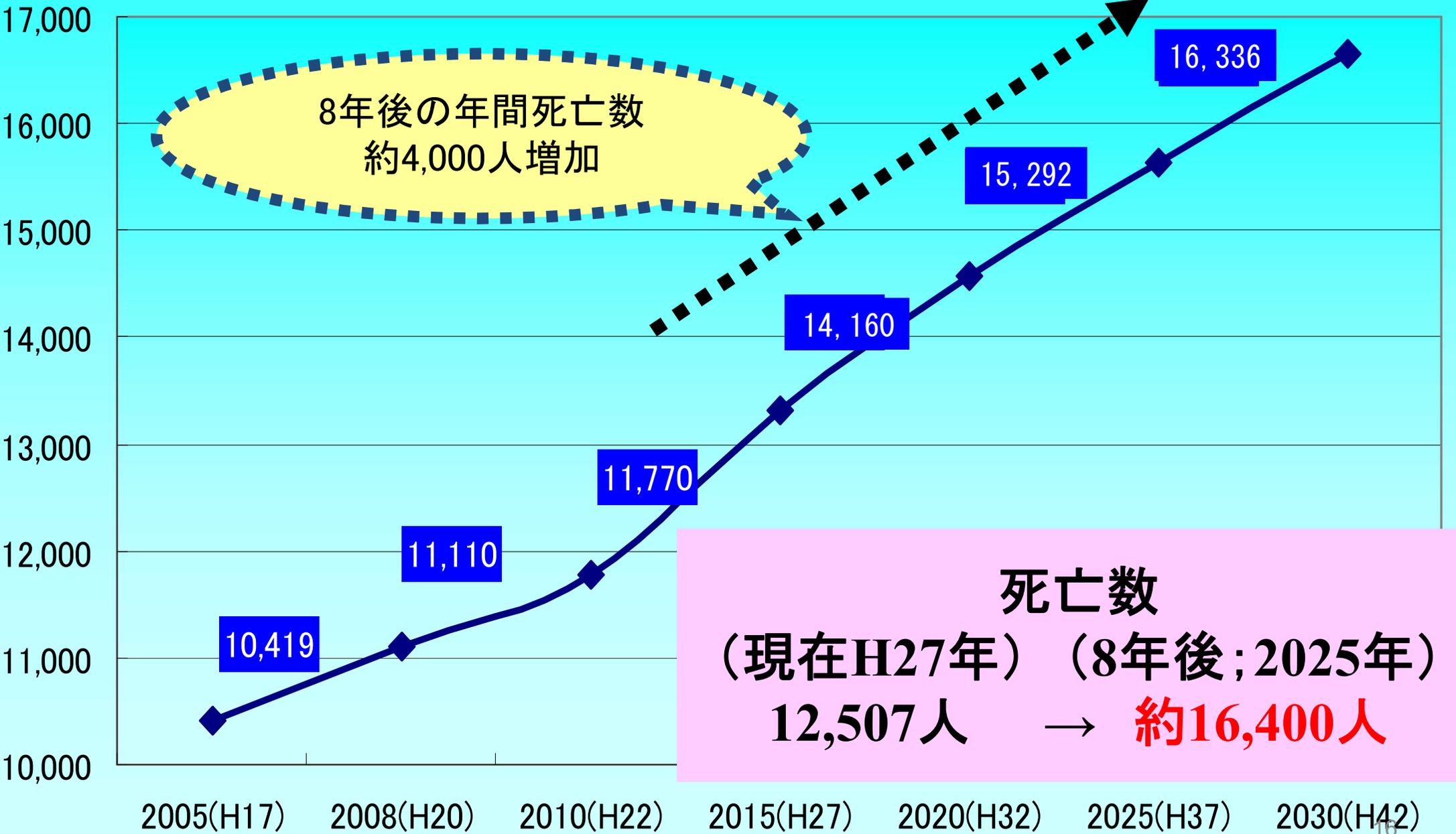
(単位:千世帯)



65歳以上の単独世帯と高齢夫婦世帯の割合（湖東圏域）

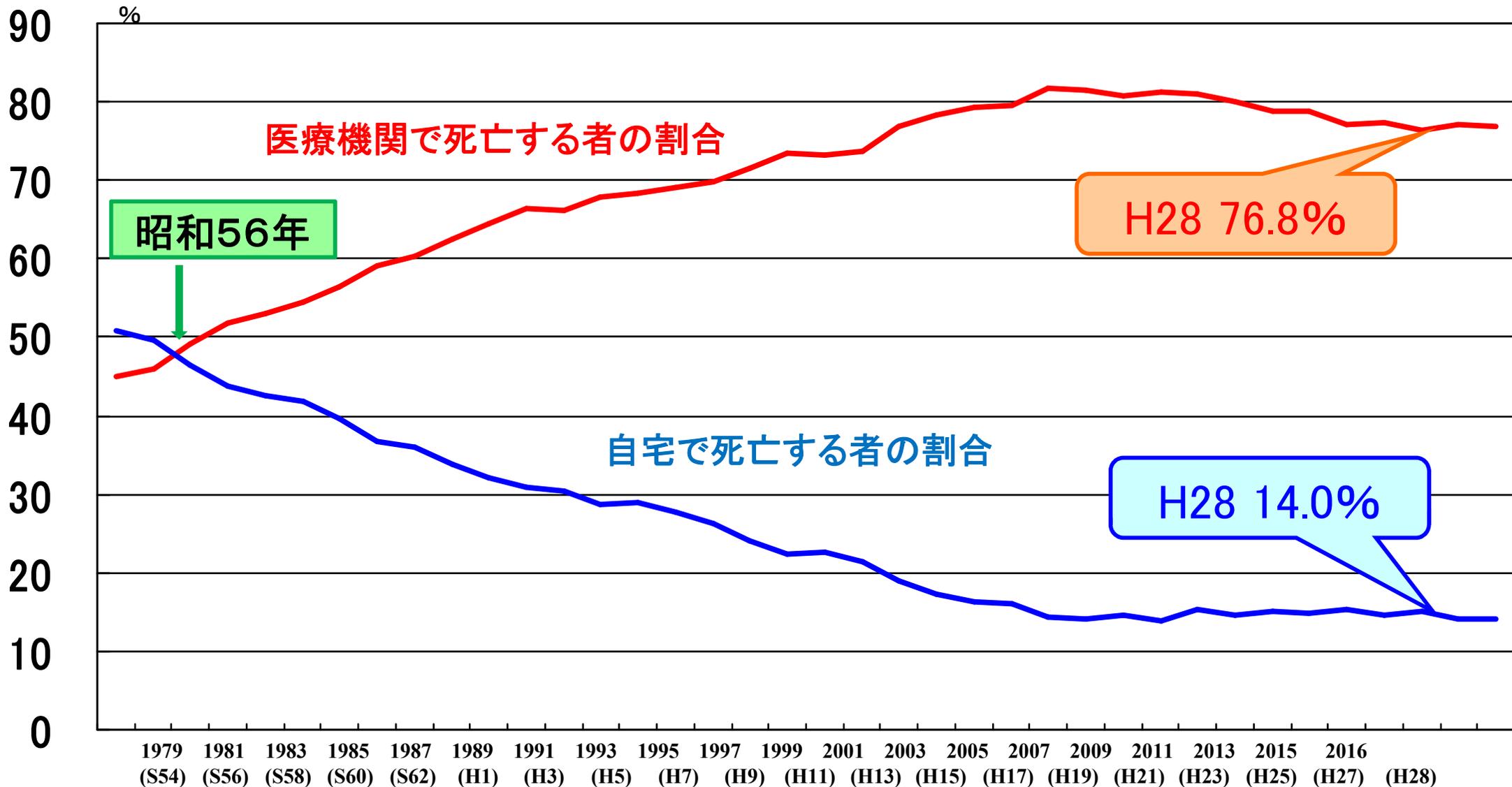


死亡数の年次推移(滋賀県)



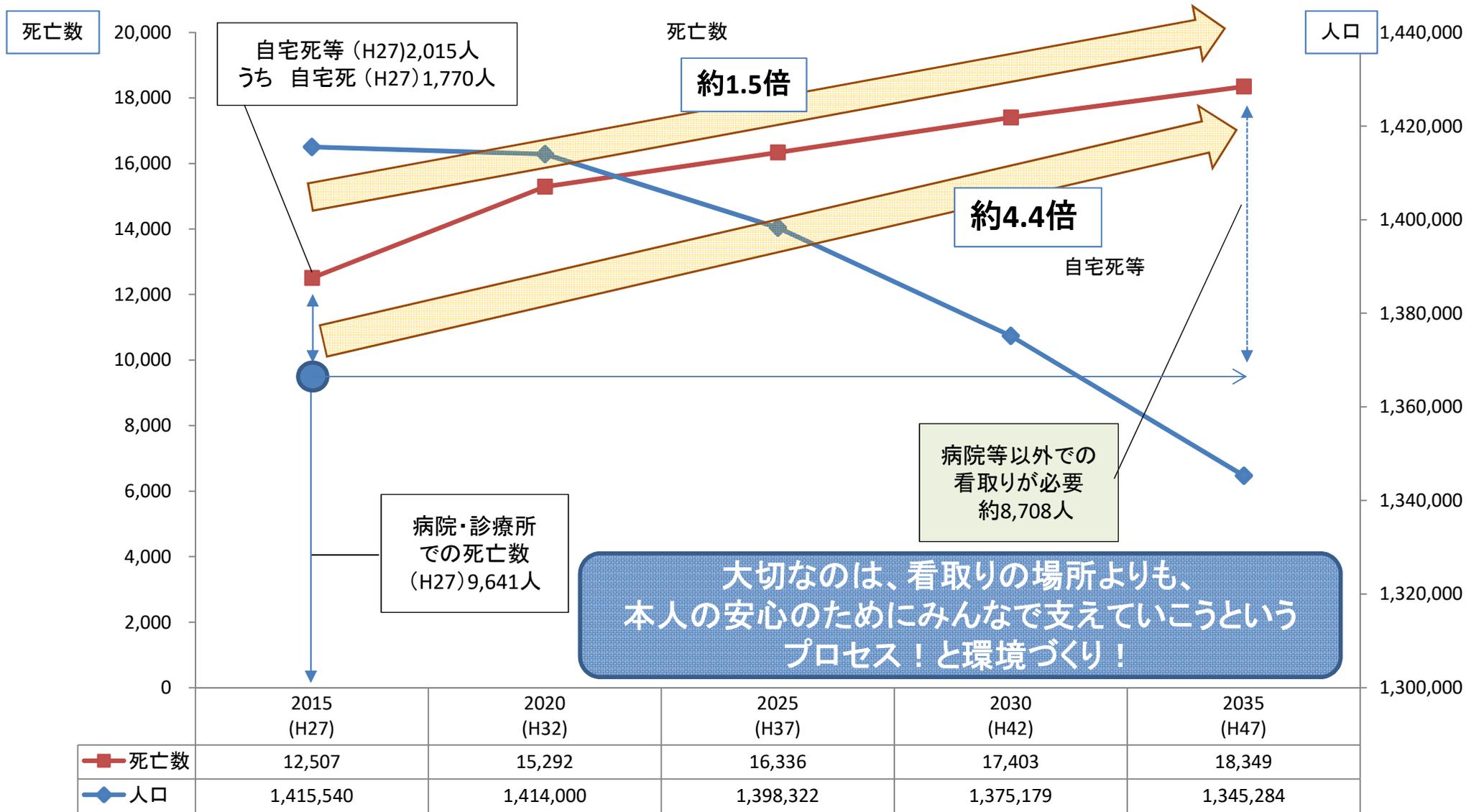
医療機関における死亡割合の年次推移(滋賀県)

医療機関(病院・診療所)において死亡する者の割合は、昭和56年(1981年)に自宅で死亡する者の割合を上回り、年々増加していたが、近年は8割前後で推移している。



超高齢化・多死社会の到来！！

－看取りの場所の確保が必要－

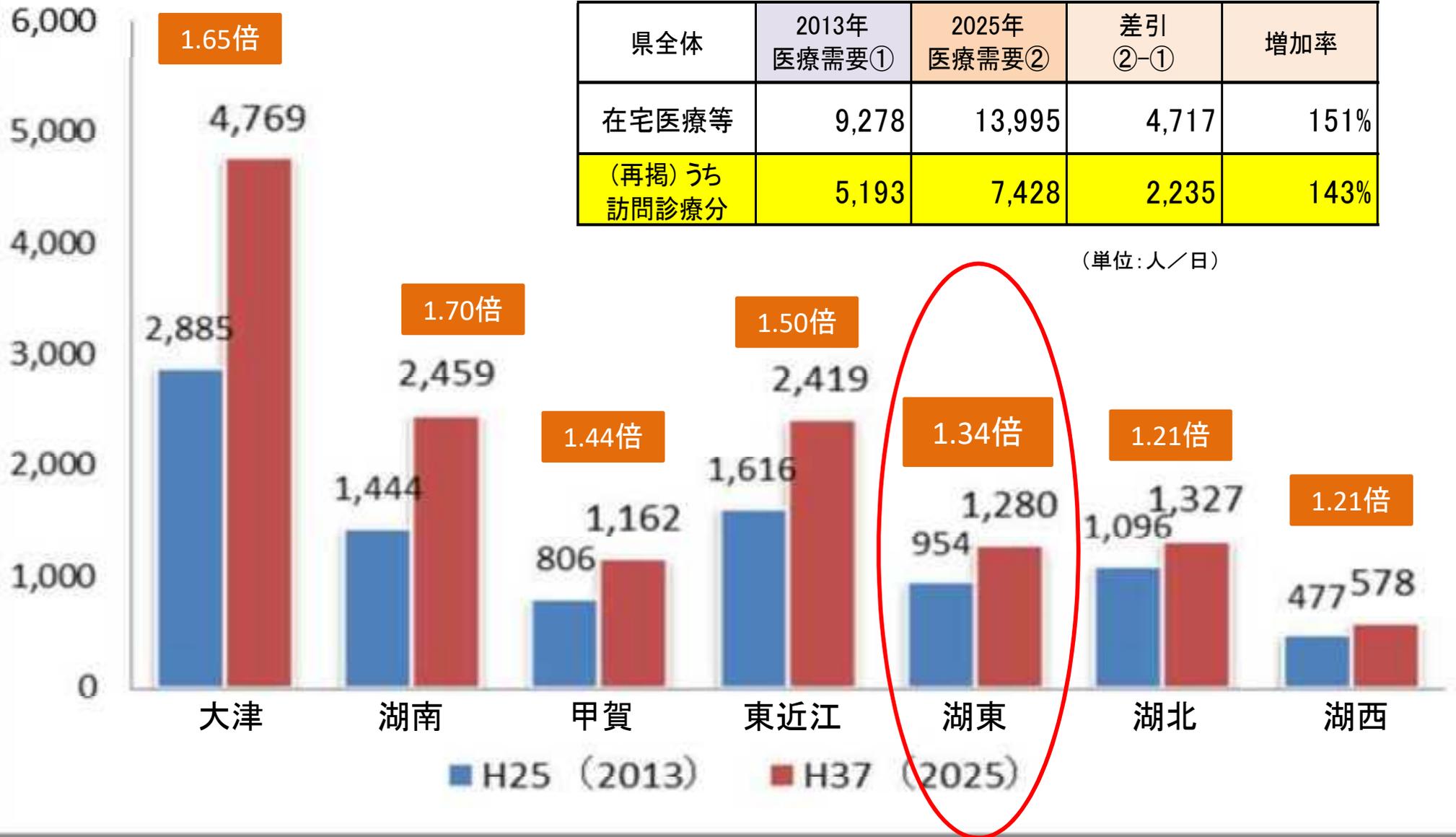


※死亡数：H25.3 国立社会保障・人口問題研究所「日本将来推計人口」による本県生残率により5年間の死亡者数を推計し、1年間での平均値を算出
 ※人口：H25.3 国立社会保障・人口問題研究所による本県推計人口
 ※2015(H27)の死亡数、人口は滋賀県推計人口年報の概要

在宅医療等 医療需要

— 「地域医療構想策定支援ツール」より

県全体	2013年 医療需要①	2025年 医療需要②	差引 ②-①	増加率
在宅医療等	9,278	13,995	4,717	151%
(再掲)うち 訪問診療分	5,193	7,428	2,235	143%

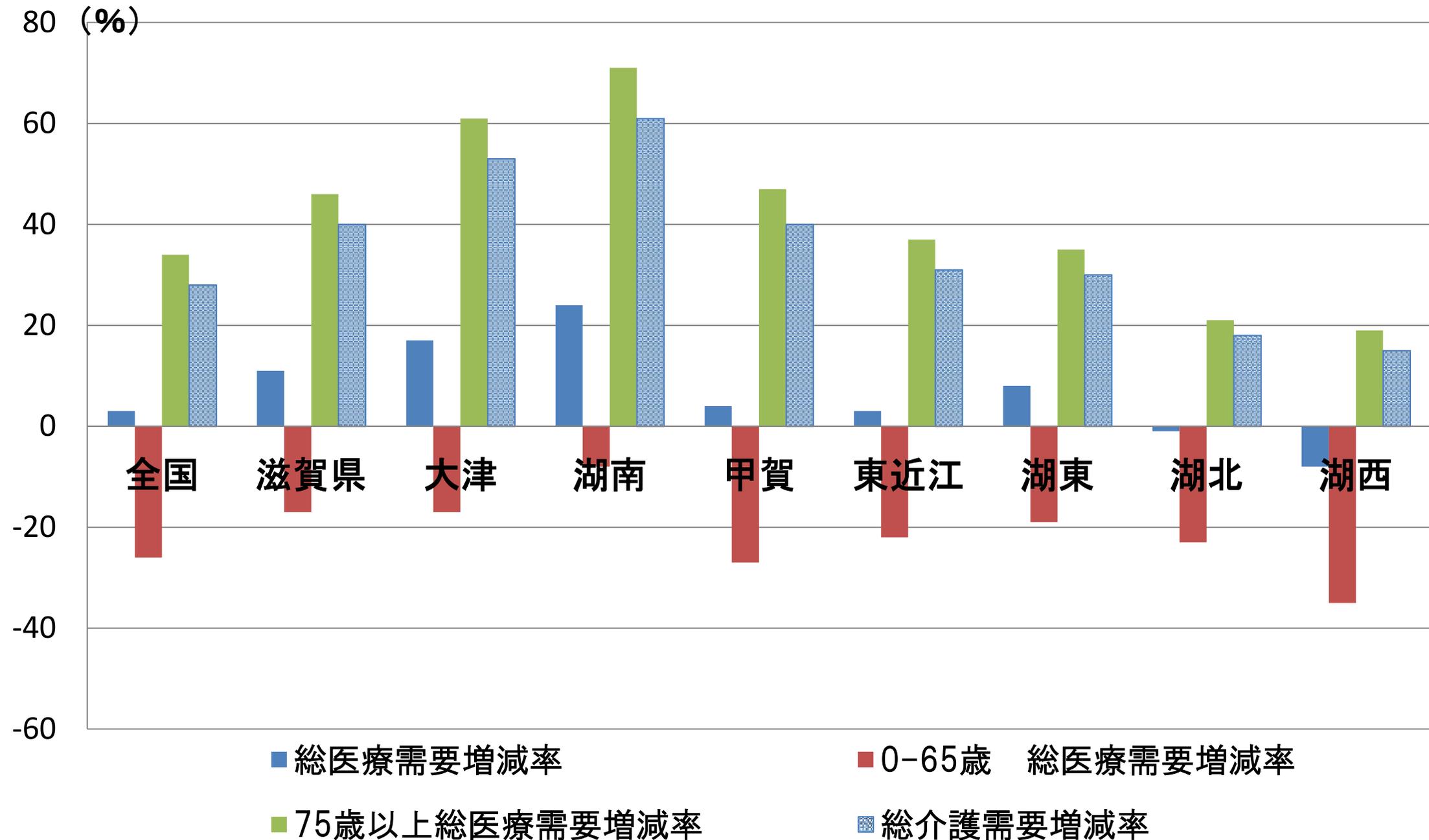


※在宅医療等の推計には以下の患者が含まれている

- 訪問診療を受けている患者
- 老健施設の入所者
- 療養病床入院患者のうち、医療区分1の70%および地域差解消分
- 一般病床入院患者のうち、医療資源投入量(患者に対して行われた診療行為を診療報酬の出来高点数で換算した値)175点未満の患者

※医療機関所在地ベース・慢性期パターンBによる推計

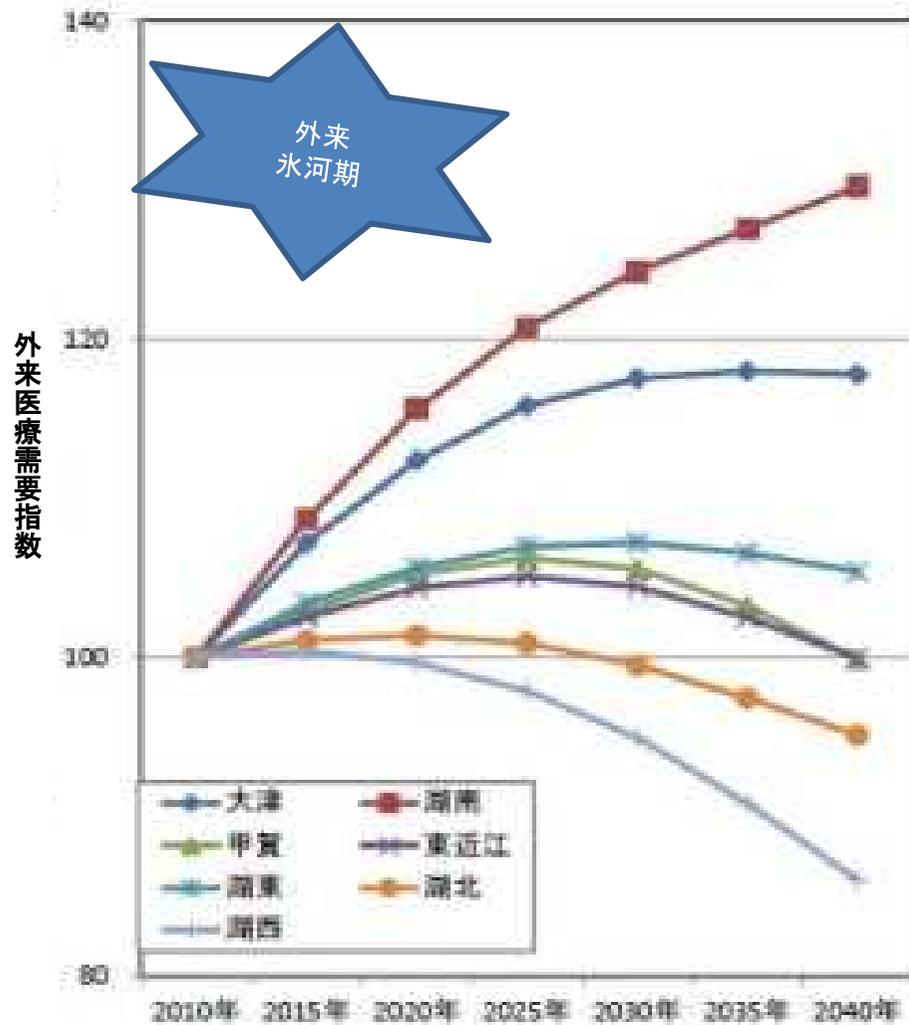
2015年 (H27) →40年 (H52) 医療介護需要増減予測



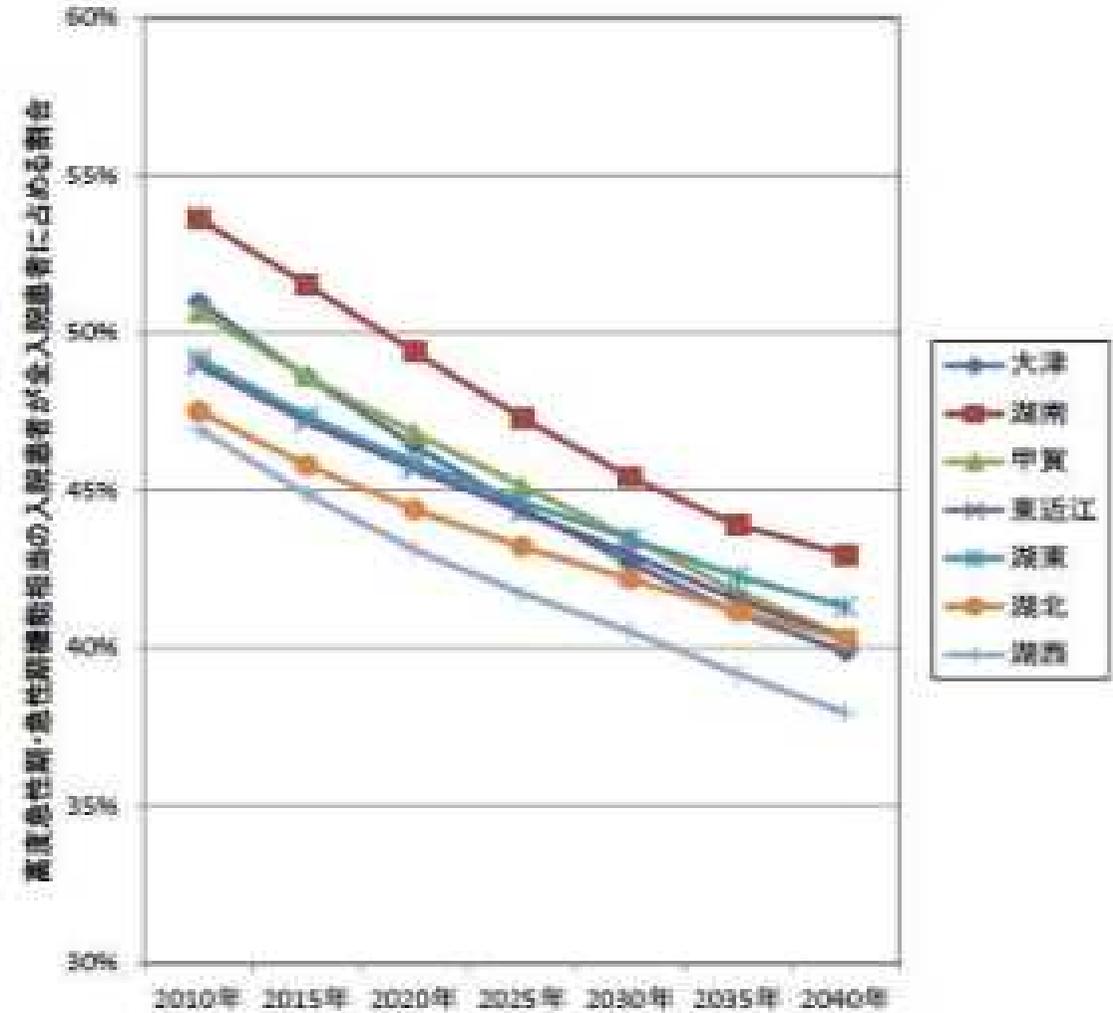
[出典] 日本医師会総合研究機構資料より作成、費用ベースに年齢層別の「人口増加を加味したものであり、医療受療率、介護サービス受給率がH22年時と変わらないことを前提に算出

外来医療需要・機能別病床数の推移 (平均在院日数に基づく推計)

外来医療需要の推移

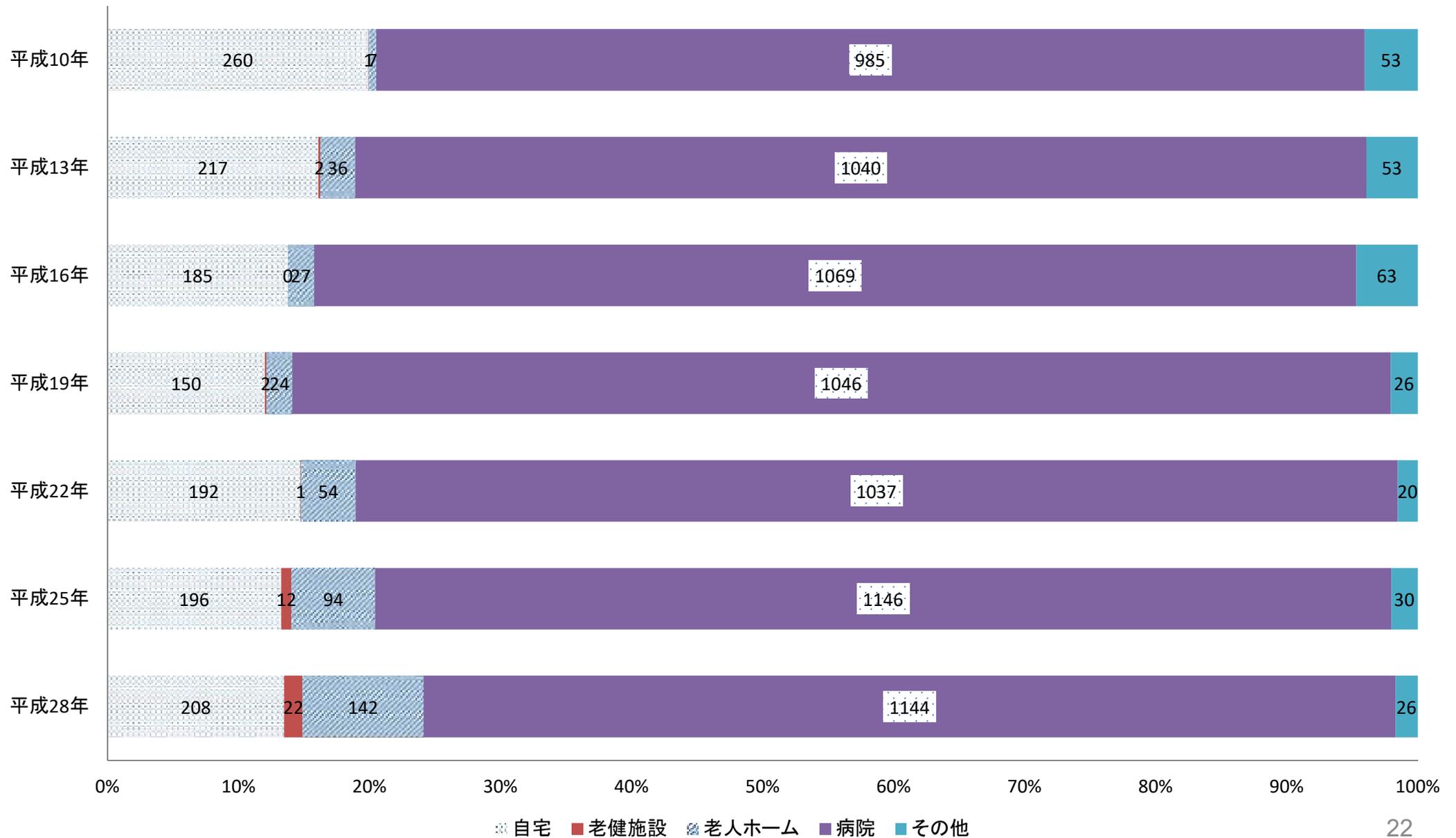


全入院患者に占める高度急性期・急性期入院
機能相当の患者の割合の推移



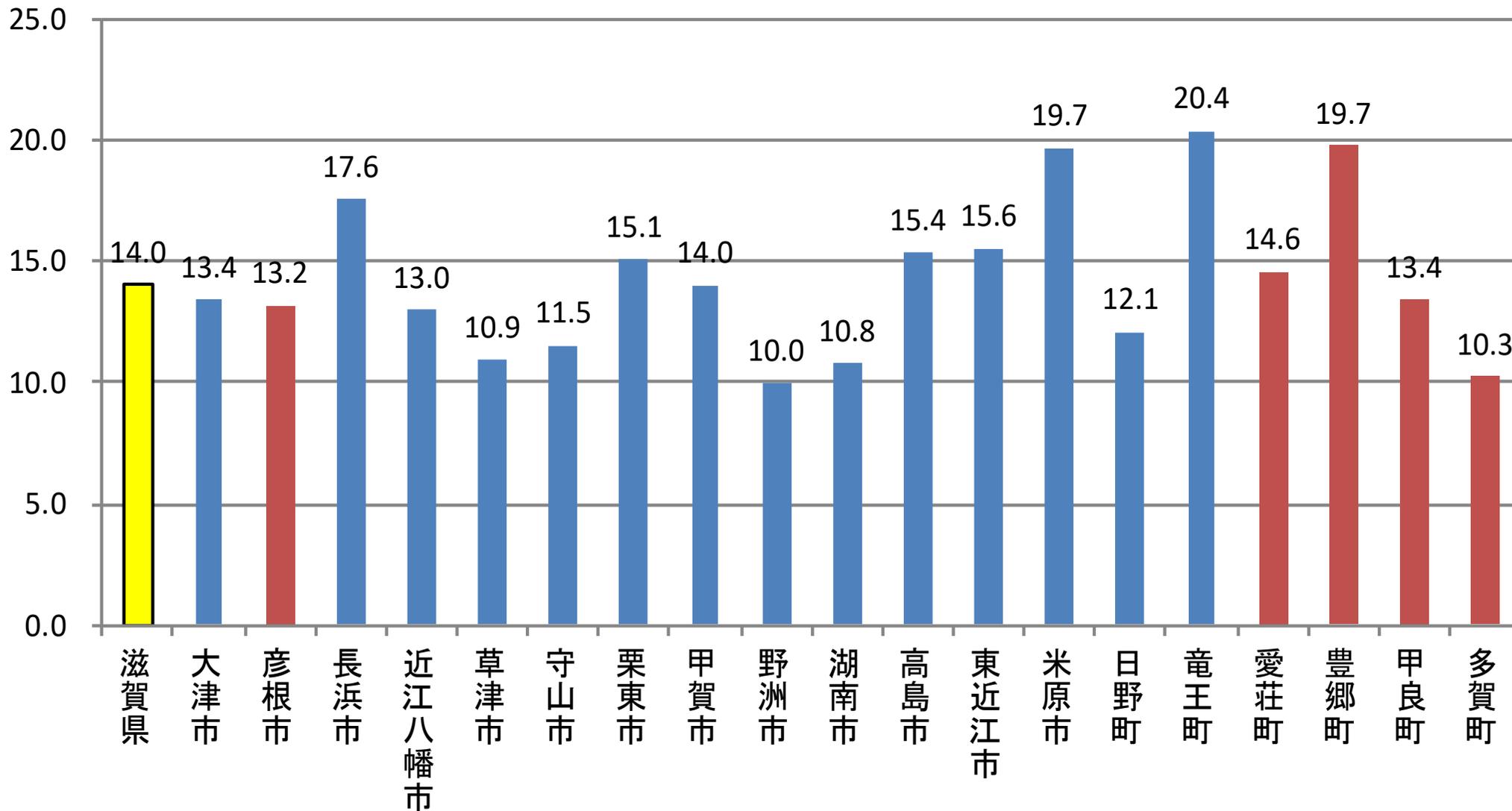
出典: 経済産業省「将来の地域医療における保険者と企業のあり方に関する研究会」報告書(2015年3月)

場所別死亡者割合の推移(湖東圏域)



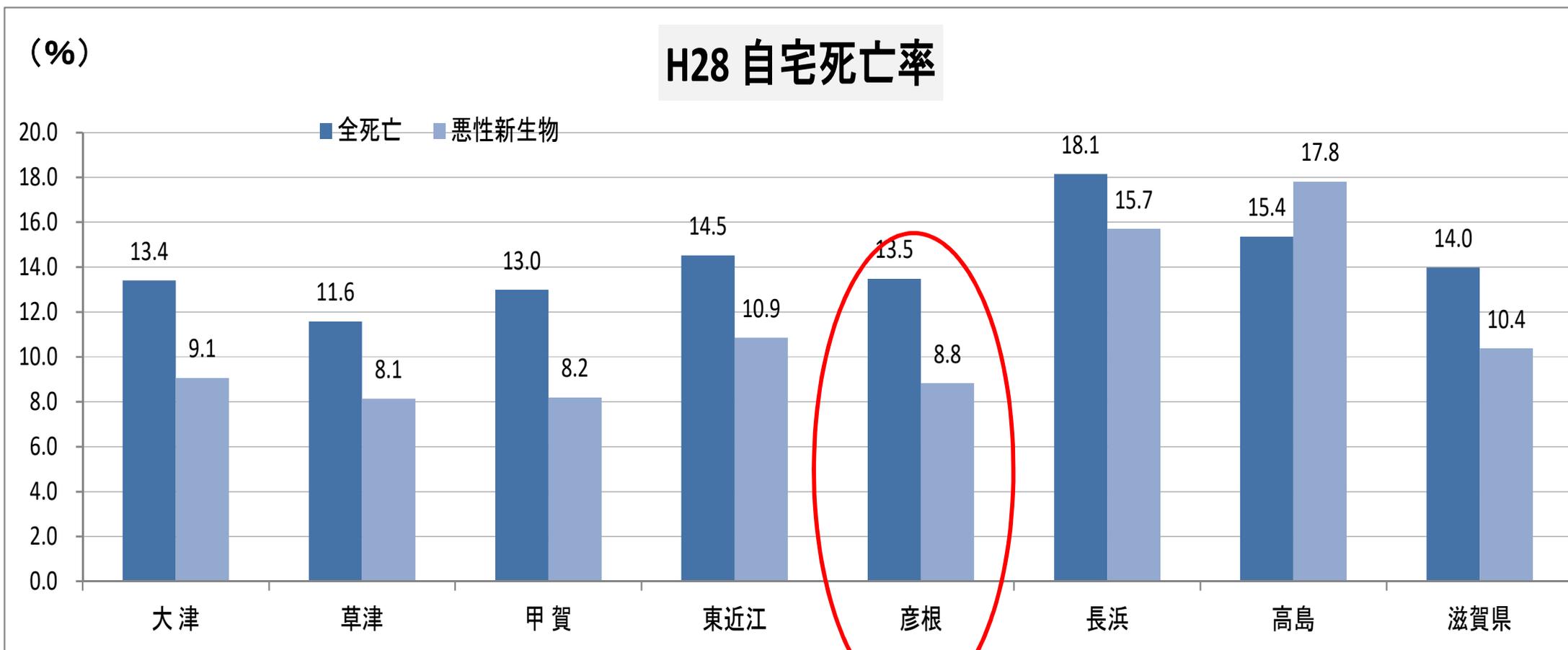
死亡の場所別に見た市町別「自宅」死亡率 H28年人口動態統計より(医療福祉推進課作成)

(%)



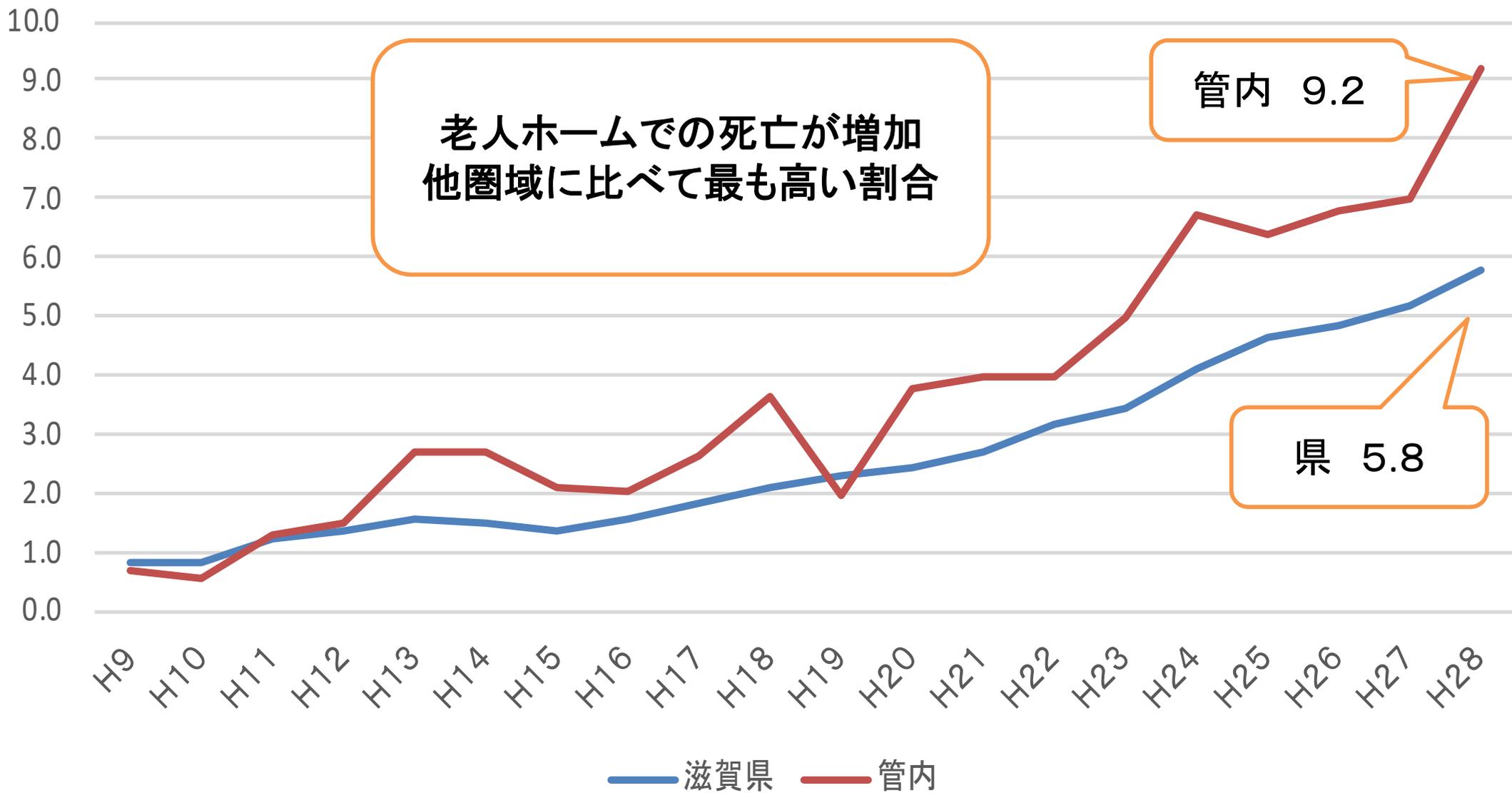
H28 自宅での死亡割合（滋賀県・圏域別）

★全死亡・悪性新生物

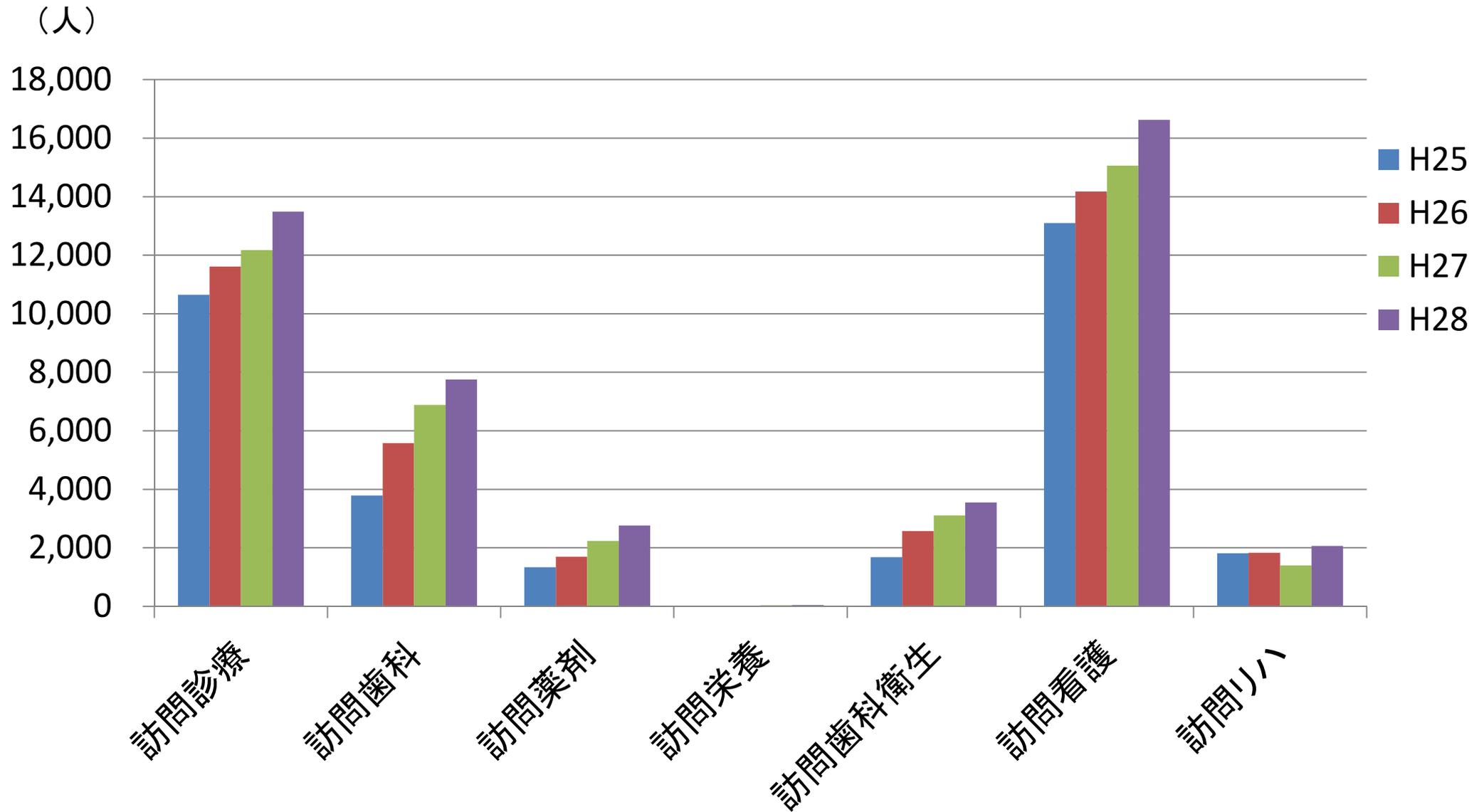


湖東圏域は、自宅での死亡割合が県平均に比べ低い。

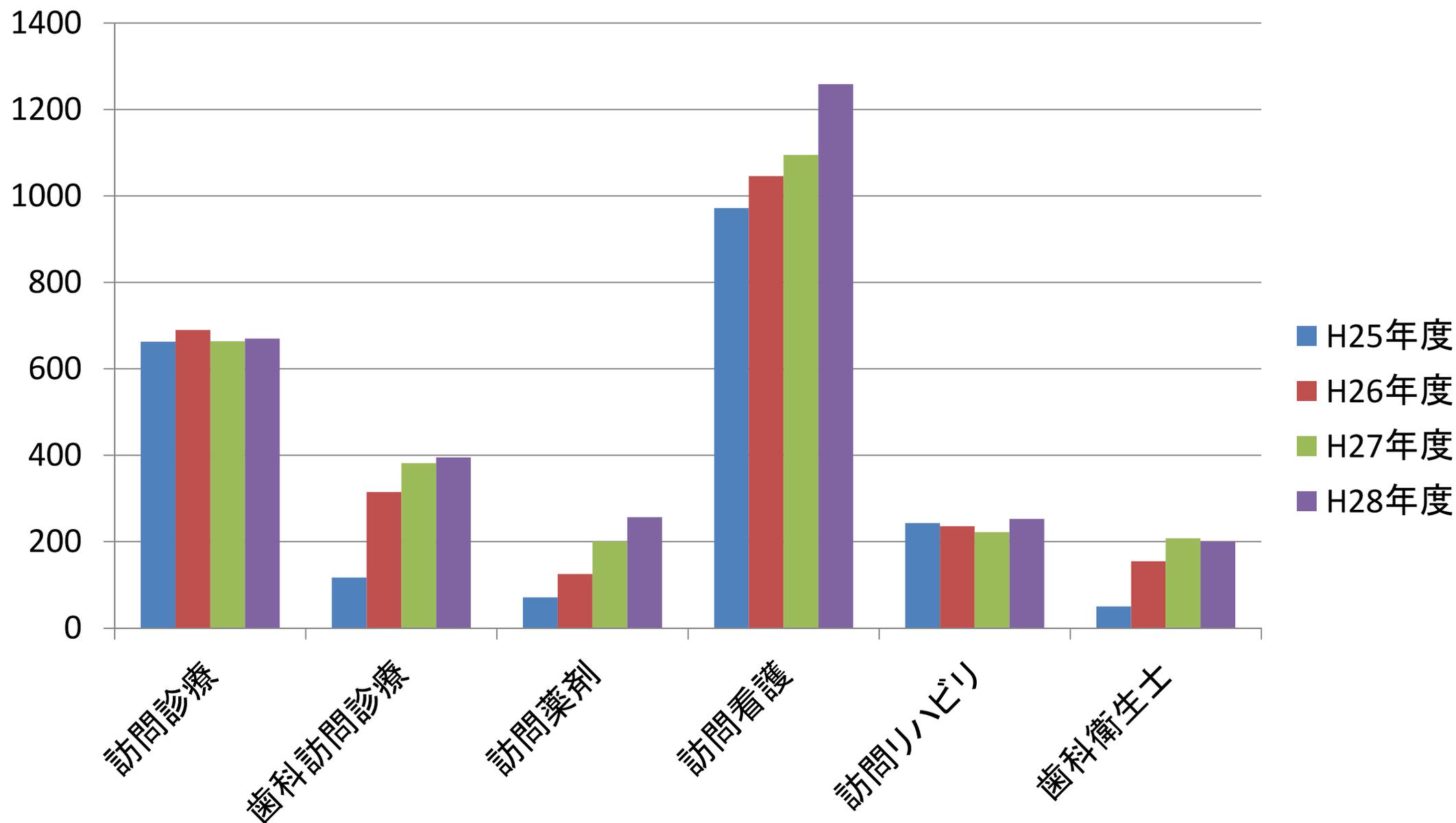
老人ホームでの死亡割合(県・管内)



医療・介護保険の在宅医療関連サービス利用実人数 ～ 経年変化 ～

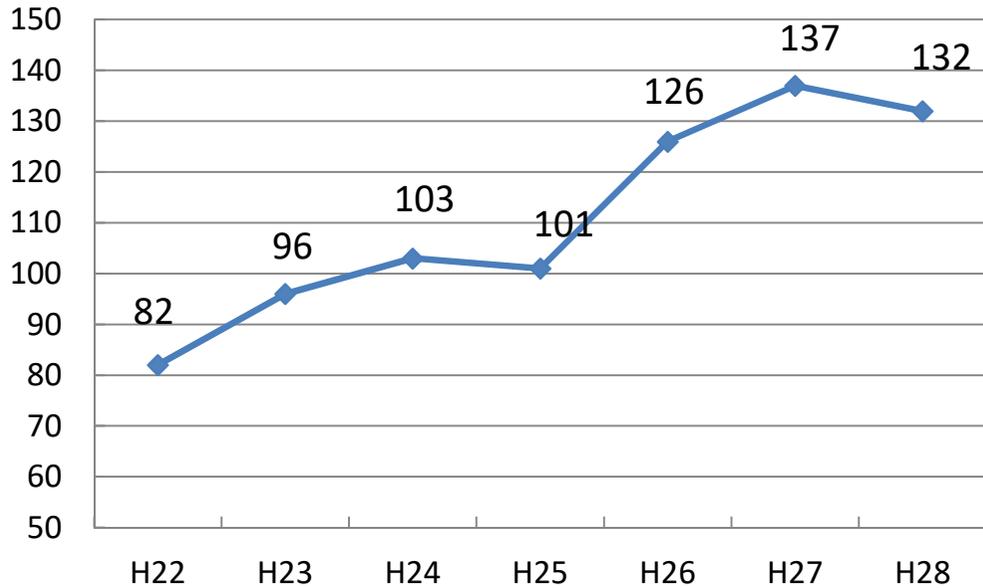


医療・介護保険の在宅医療関連サービス利用実人員（湖東圏域）

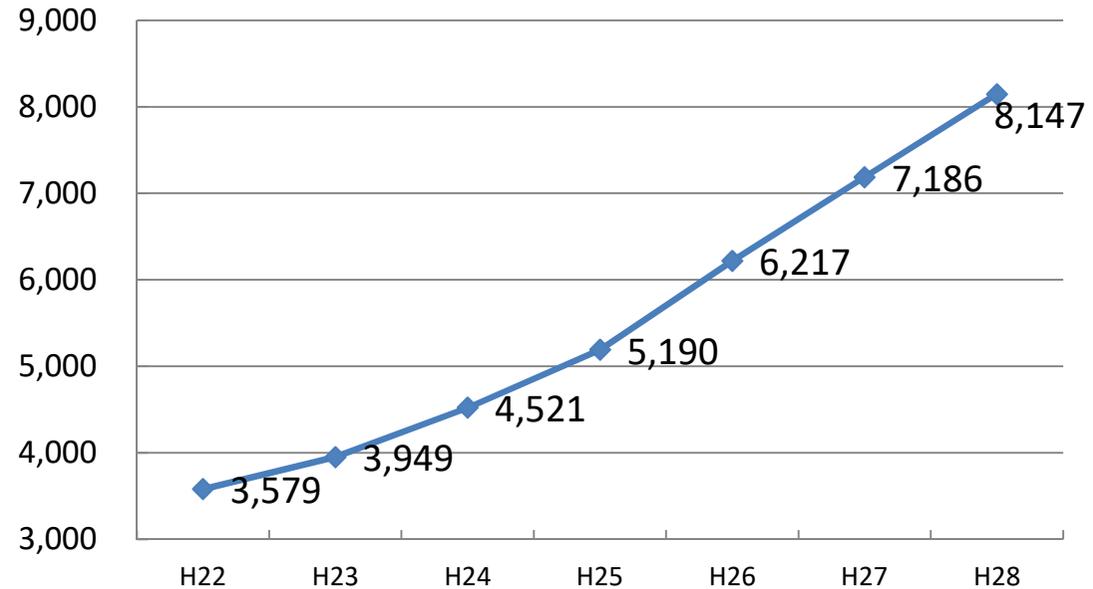


在宅療養支援診療所の状況

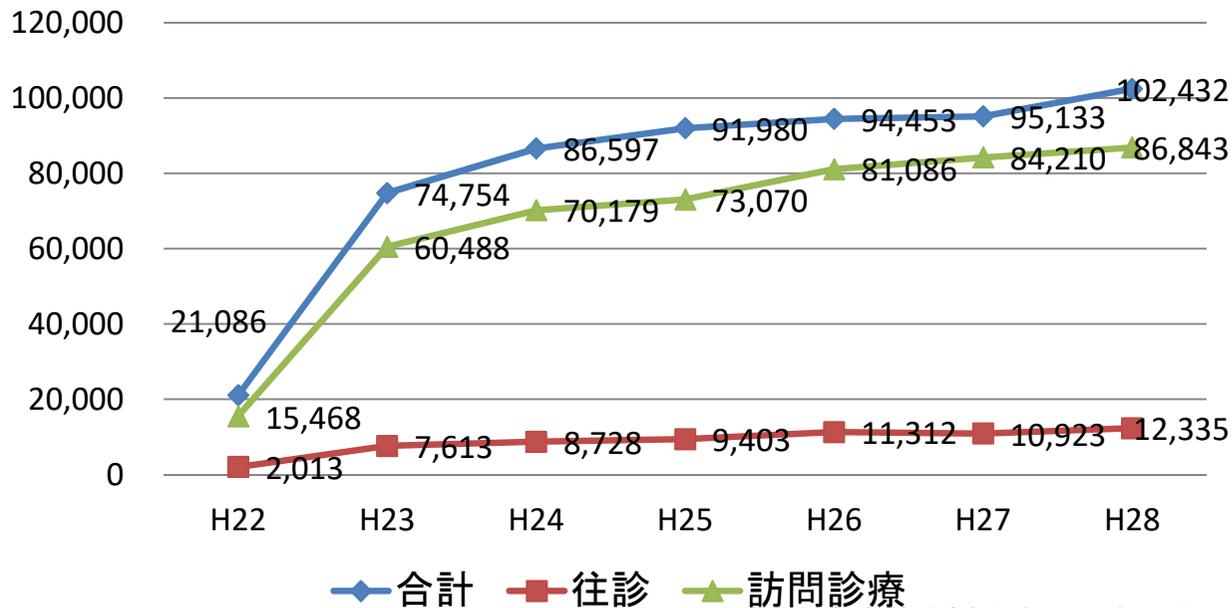
1. 在宅療養支援診療所数



2. 在宅療養支援診療所が対応する在宅療養患者数



3. 訪問診療・往診件数

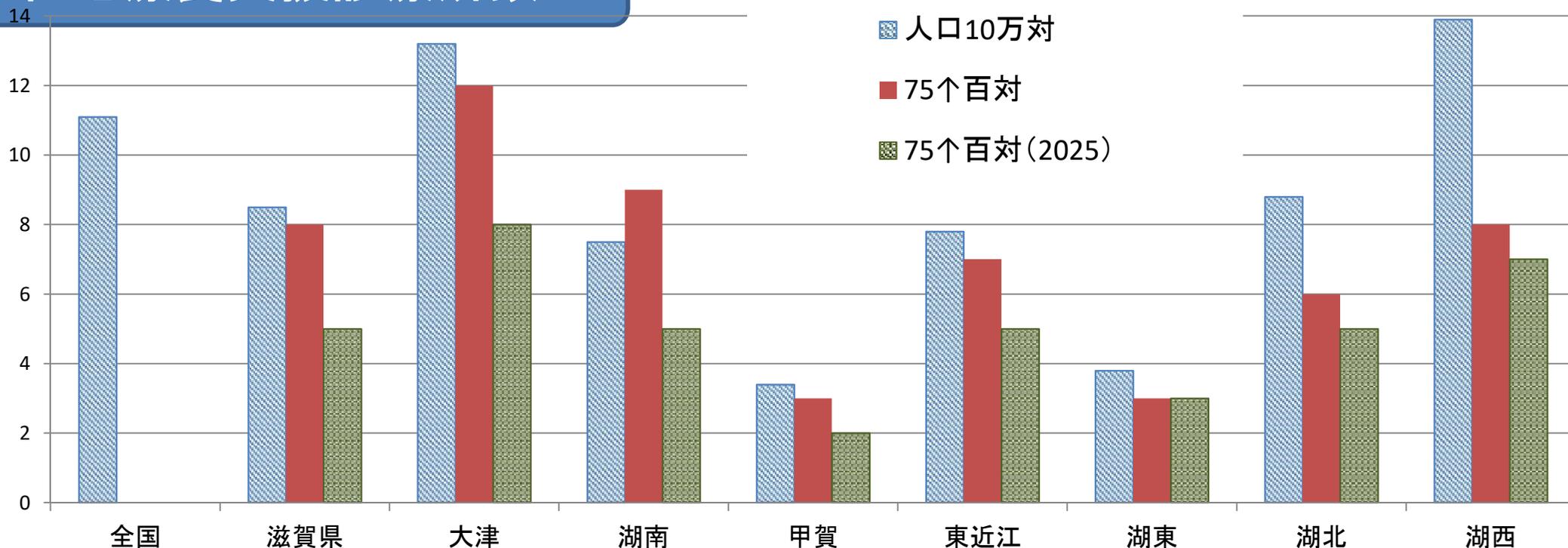


4. 在宅療養支援診療所・病院の看取り対応数

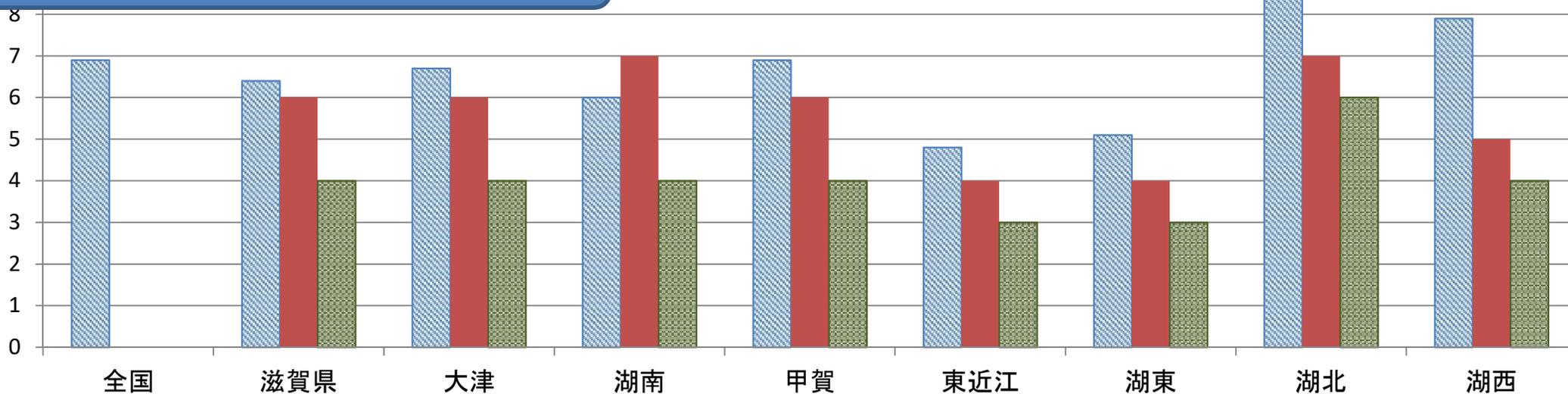
	機関数	在宅療養患者数	死亡患者数	自宅死亡者数	在宅看取り数	
在宅療養支援診療所	134	8,142	1,461	626	914	
在宅療養支援病院	9	922	119	64	80	
1機関あたり数	在宅療養支援診療所	—	60.8	10.9	4.7	6.8
	在宅療養支援病院	—	102.4	13.2	7.1	8.8

出典: 在宅療養支援診療所近畿厚生局報告資料より作成(毎年7月1日～翌年6月30日の実績)

在宅療養支援診療所数



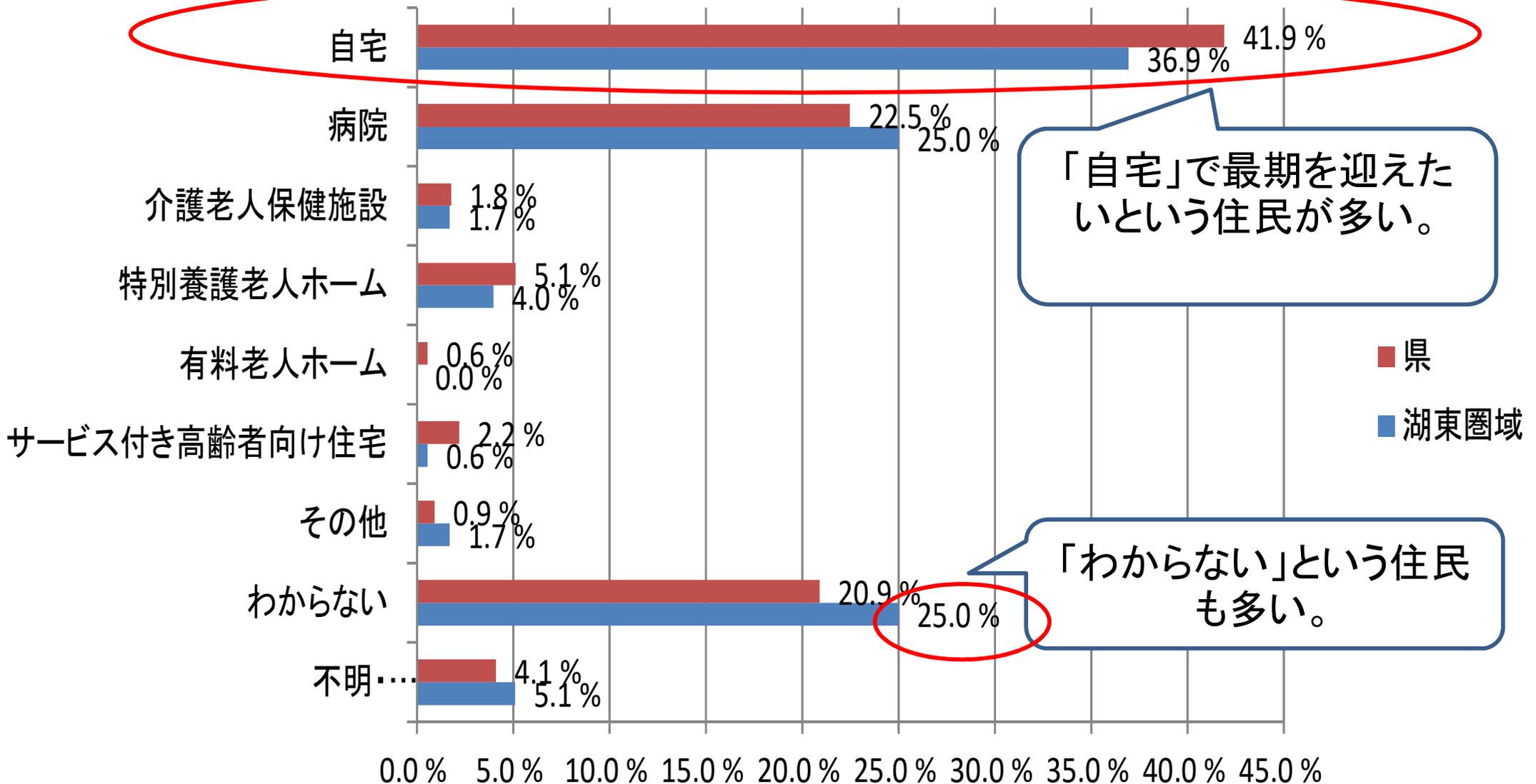
訪問看護ステーション数



管内の医療機関の状況

	H25.10.1	H29.7.1
一般診療所	112カ所 (H26.10.1医政局)	116カ所 (H27.10.1医政局)
在宅療養支援診療所 (24時間往診が可能)	6カ所	6カ所
在宅がん医療総合診療料 (末期の悪性腫瘍患者で通院困難患者 への訪問診療)	5カ所	4カ所
在宅時医学総合管理料 (訪問診療を行う体制を確保している)	12カ所	15カ所
在宅療養支援歯科療所	0カ所	6カ所
在宅療養支援病院	0カ所	0カ所
訪問看護ステーション	6カ所	9カ所

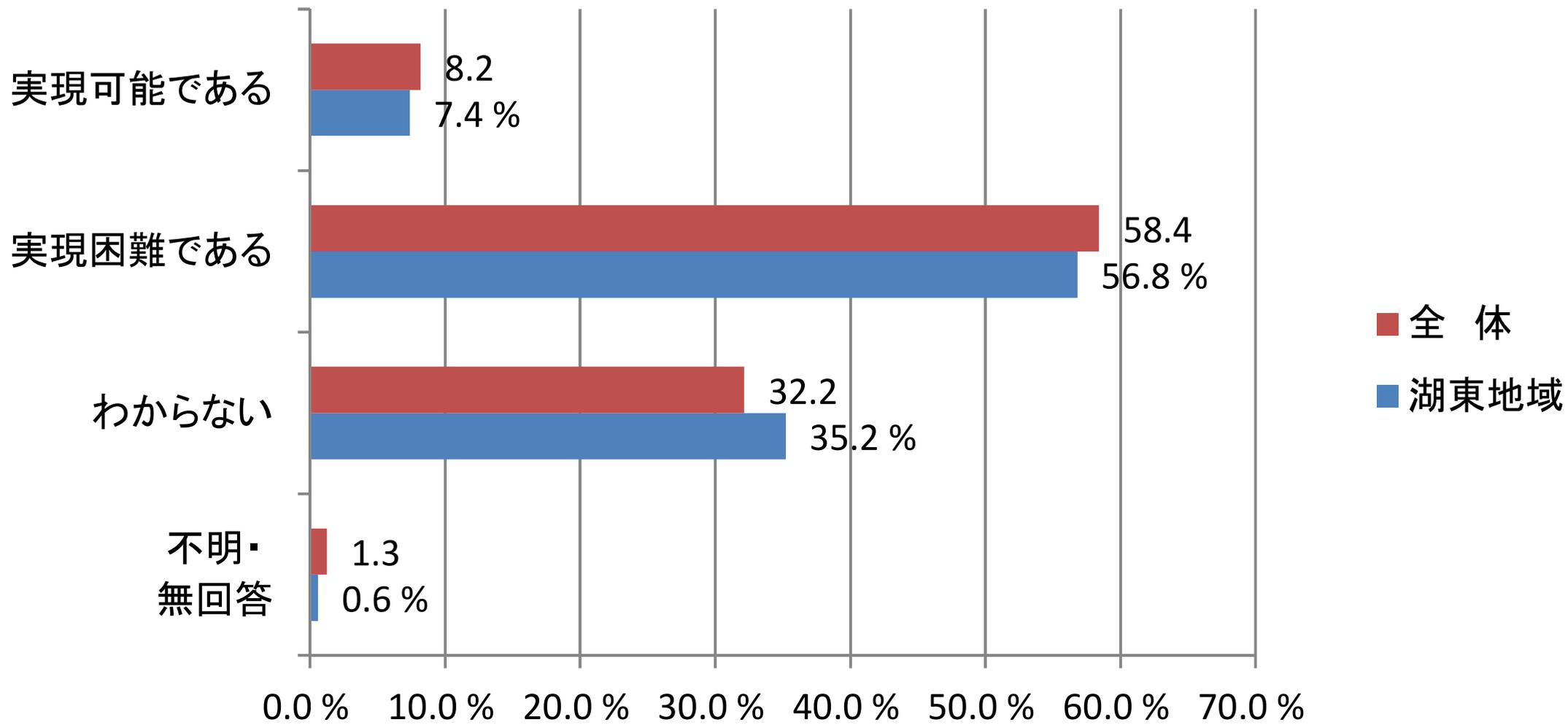
住民の思い ～人生の最期をどこで迎えたいか～



「自宅」で最期を迎えたいという住民が多い。

「わからない」という住民も多い。

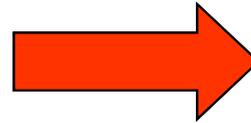
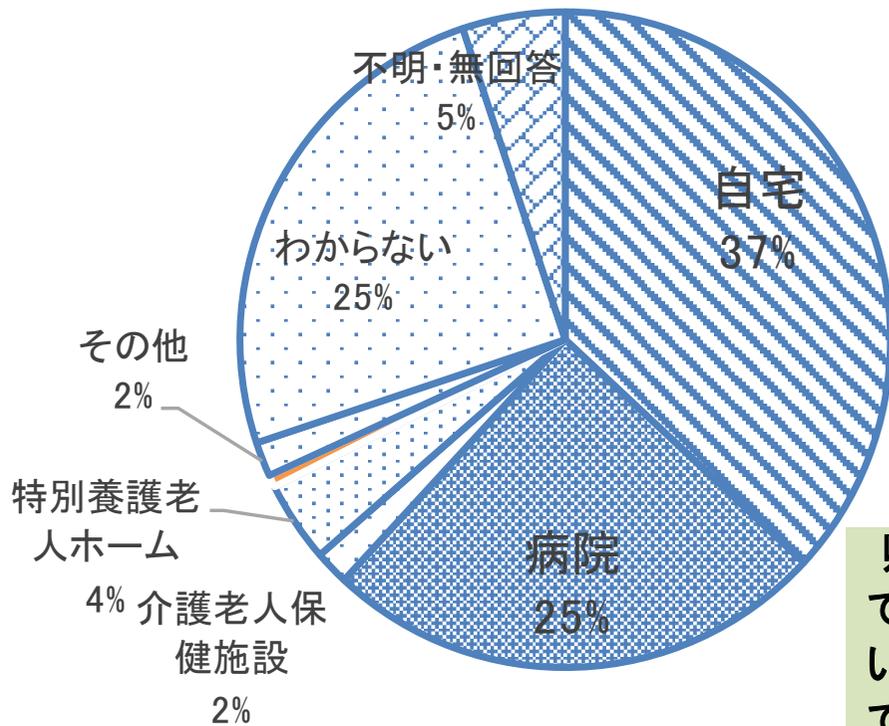
自宅で最期まで療養できるか



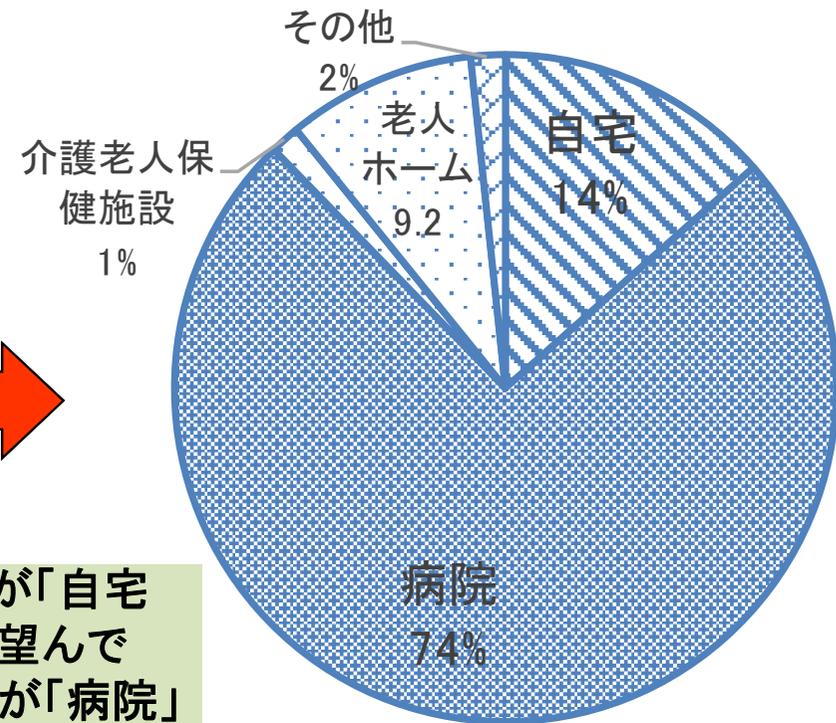
湖東管内の看取り 理想と現実のギャップ

どこで最期を迎えたいか？

実際に最期を迎える場所



県民の約4割が「自宅での看取り」を望んでいるが、約7割が「病院」で亡くなっている。

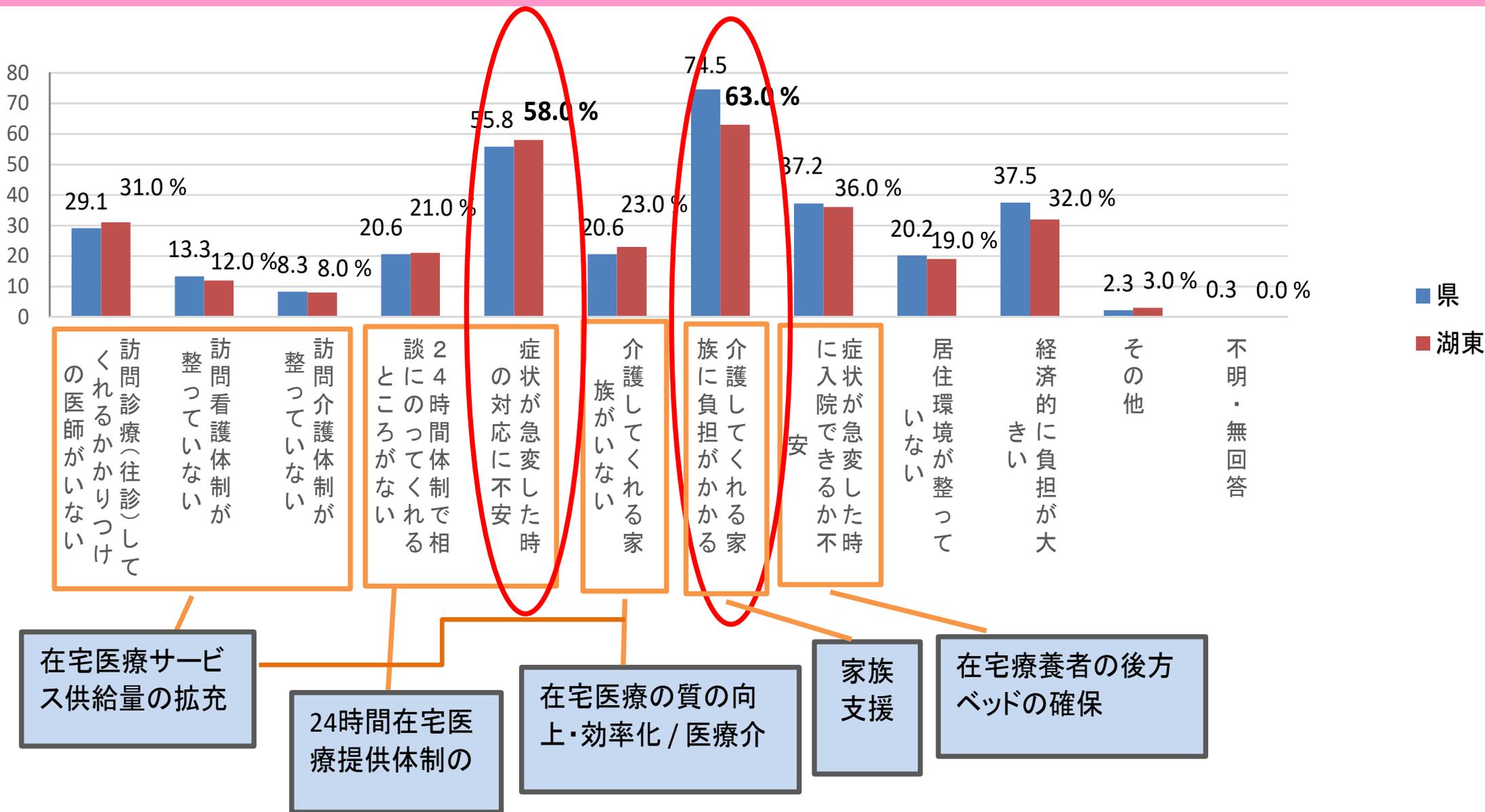


(左グラフ) 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査(平成28年度)

(右グラフ) 平成28年滋賀県死亡数(場所別)厚生労働省人口動態統計を元に作成

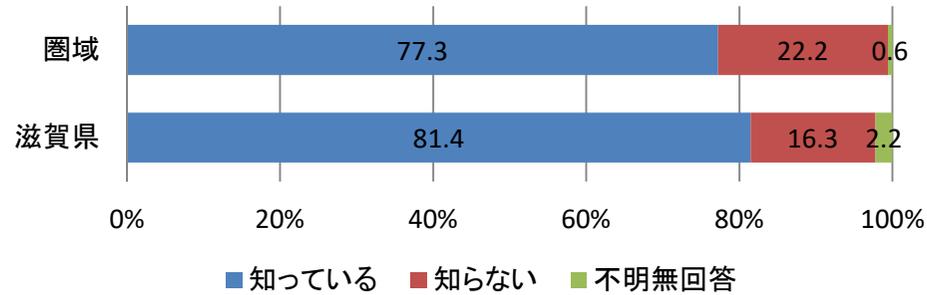
在宅医療推進にあつての課題

～在宅療養移行や継続の阻害要因～

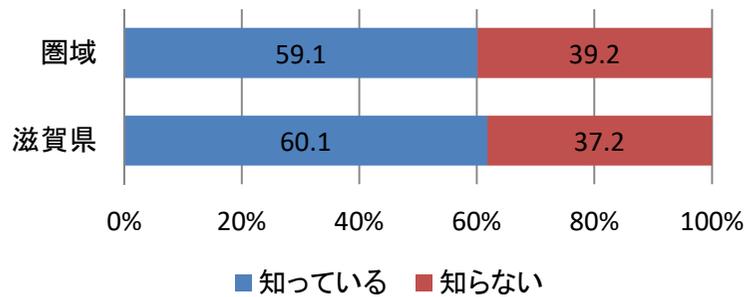


在宅医療の認知度

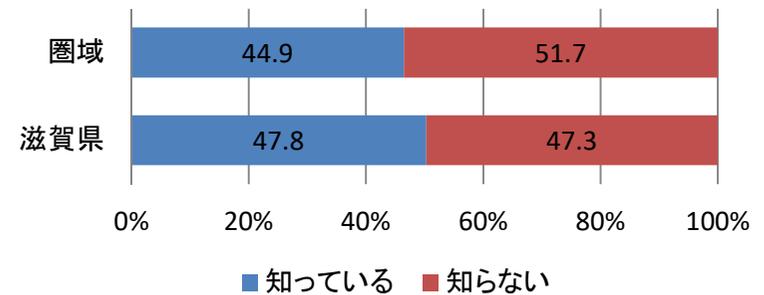
在宅医療の認知度



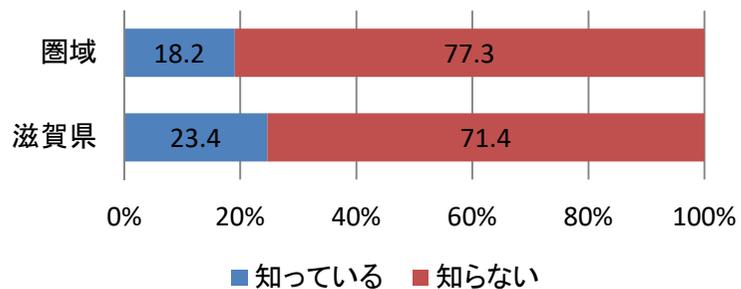
医師の訪問診療



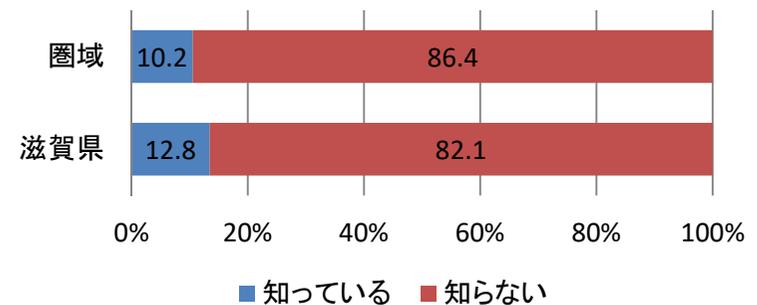
看護師の訪問看護



歯科医師の訪問診療



薬剤師の訪問指導



ターミナルケアについての考え方

仮に、あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく6ヶ月以内に死期が迫っている状態だとした場合、どのようにしたいと思われますか

